

# 第2次牧之原市総合計画

---

## 実施計画

令和4年度

＜将来都市像＞

絆と元気が創る

幸せあふれみんなが集う

NEXTまきのほら

# 目 次

第1 実施計画の基本方針	1
1 総合計画における位置づけ	1
2 実施計画の期間	1
3 実施計画の進行管理	2
4 まち・ひと・しごと創生総合戦略と実施計画との関係	3
5 実施計画の事業費及び事業数	3
第2 戦略プロジェクト	4
戦略プロジェクト1 未来若者プロジェクト	5
戦略プロジェクト2 高台開発プロジェクト	8
戦略プロジェクト3 公共施設最適化プロジェクト	10
第3 実施計画	13
政策1 健康福祉	
施策1 子育て支援の充実	14
施策2 超高齢社会への対応	18
施策3 障がい者福祉の充実	21
施策4 健康づくりの推進	24
施策5 地域医療体制の構築	27
施策6 地域福祉活動の推進	29
政策2 教育文化	
施策1 学びの意欲を育む学校教育	31
施策2 豊かさを育む社会教育・芸術文化	35
政策3 産業経済	
施策1 農業・水産業の振興	39
施策2 企業誘致と雇用確保	44
施策3 中小企業の振興	47
施策4 観光業の振興	49
政策4 生活基盤	
施策1 道路・河川の保全と整備	52
施策2 安定した上水道の供給	56
施策3 計画的な土地利用・公園の整備	58
施策4 良好な環境の形成	61

施策5	公共交通の充実	64
施策6	住宅・土地の活用と対策	66

政策5 防災

施策1	危機管理体制の充実	68
施策2	消防体制の充実	72
施策3	防犯・交通安全活動の充実	74

政策6 市政経営

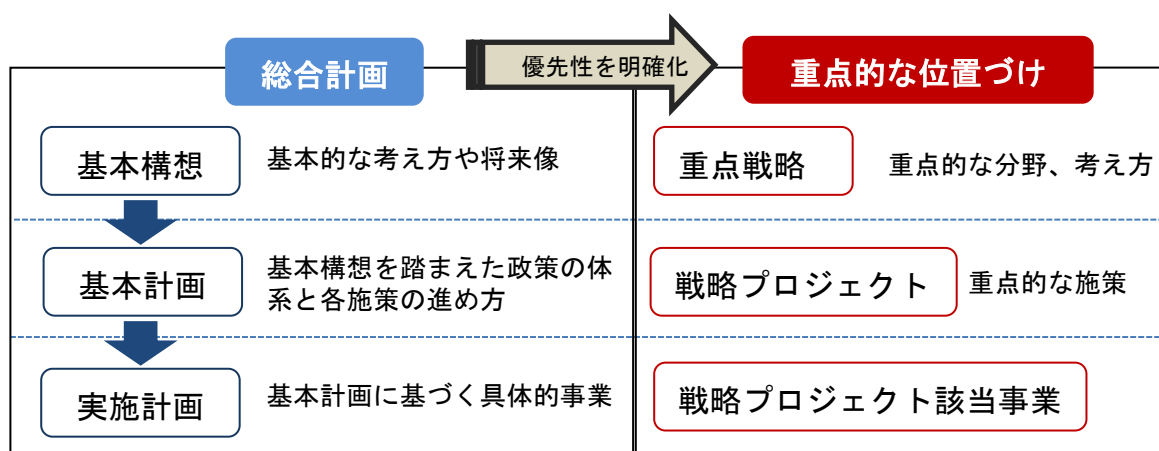
施策1	市民の期待に応える人財の育成	76
施策2	住民自治の推進	77
施策3	行財政運営の適正化	79
施策4	情報発信とシティプロモーションの推進	82

# ◆第1 実施計画の基本方針

## 1 総合計画における位置づけ

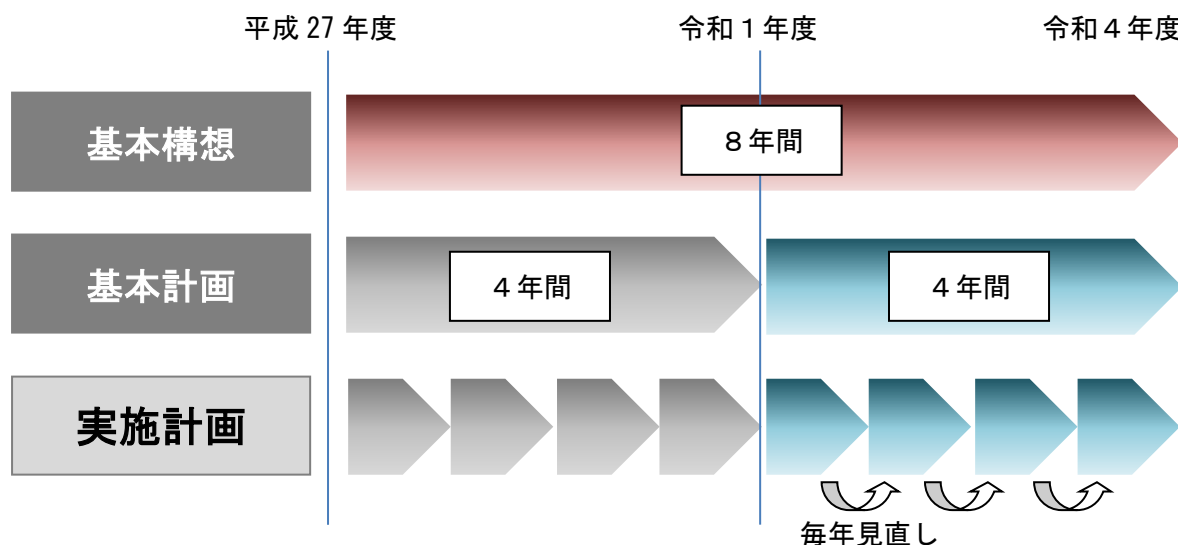
平成 27 年度を始期とする「第 2 次総合計画」は、基本構想、基本計画、実施計画の 3 層で構成されます。実施計画は、基本計画に基づき、実施する具体的な事業を示します。

また、各層に重点的に進める分野として、重点戦略、戦略プロジェクト、戦略プロジェクト該当事業を位置づけ、施策の優先性を明確にします。



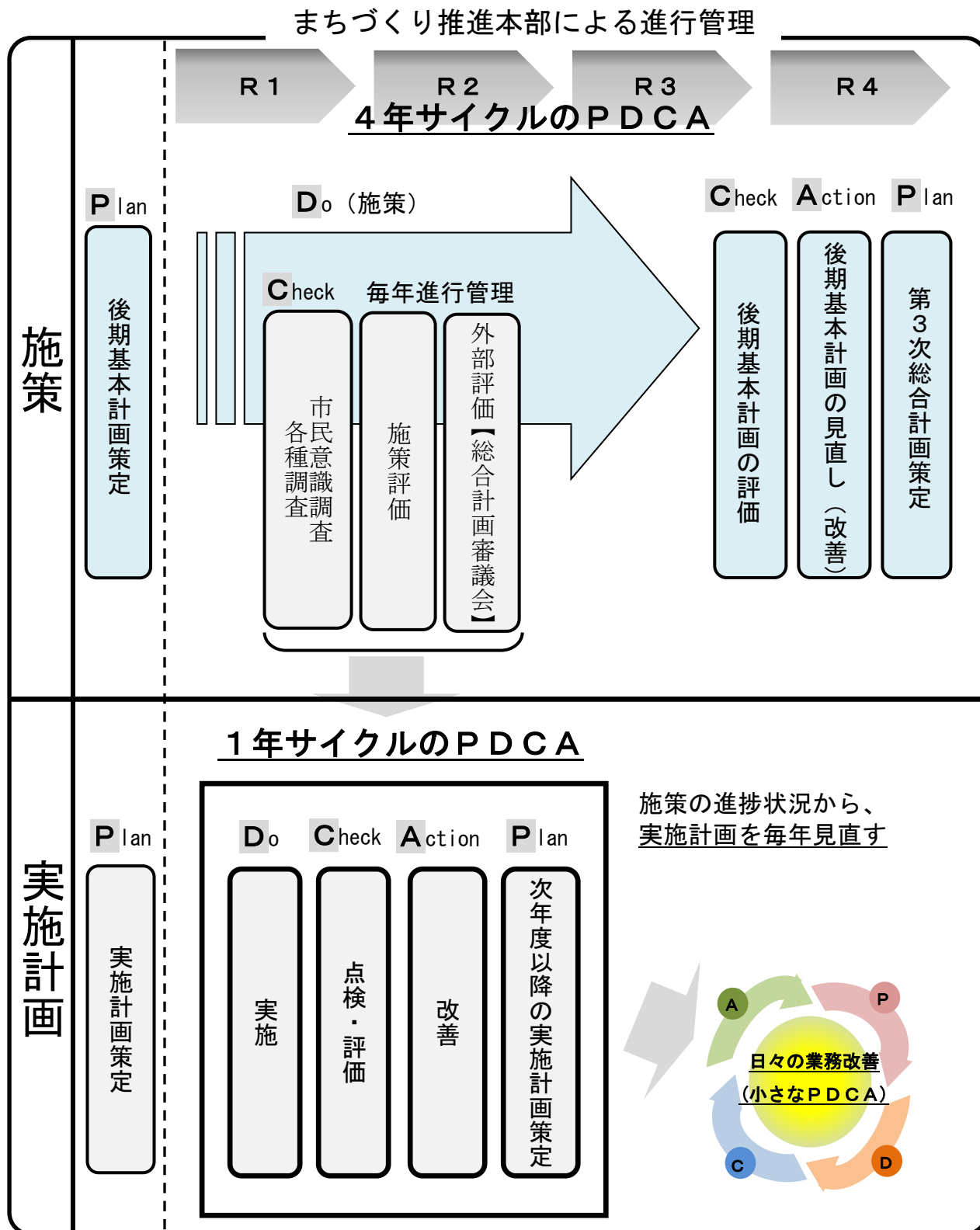
## 2 実施計画の期間

令和元年度から令和 4 年度までの 4 年間としますが、施策の達成度や社会状況の変化により、毎年見直しを行うローリング方式とします。



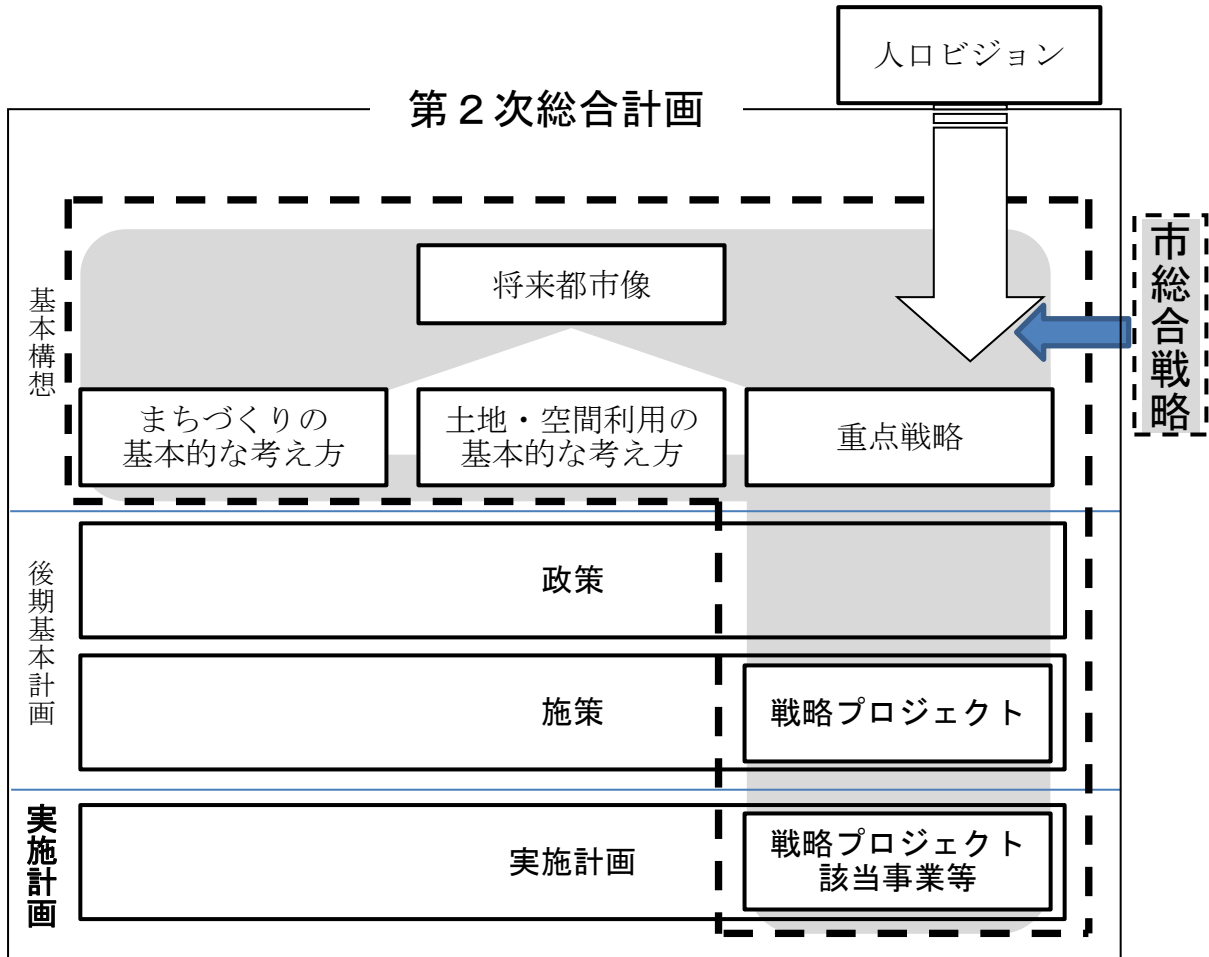
### 3 実施計画の進行管理

市長を本部長とする「牧之原市対話による協働のまちづくり推進本部会議」による進行管理のもと、施策の進捗状況から実施計画を毎年見直します。各課・個人が役割と目標を自覚し、日々の業務改善（小さなPDCA）を徹底するとともに、1年サイクルにおいては外部評価も実施し、施策目的が達成されるための実施計画を構築します。



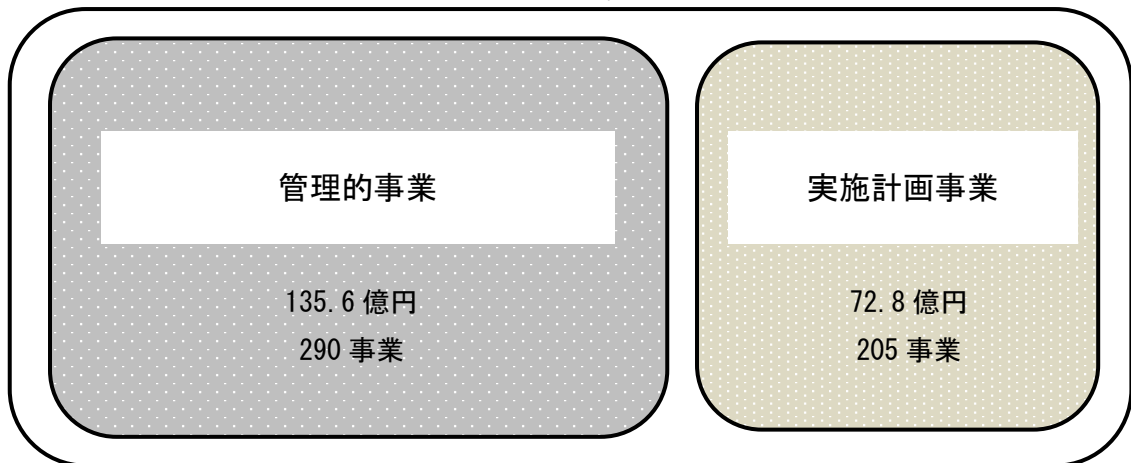
#### 4 まち・ひと・しごと創生総合戦略と実施計画との関係

令和2年3月に策定した「第2期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略」は、第2次総合計画の基本構想、後期基本計画の戦略プロジェクト、戦略プロジェクト該当事業等により構成されています。



#### 5 令和4年度 実施計画の事業費及び事業数

令和4年度総事業費 208.4億円



## ◆第2 戦略プロジェクト

---

戦略プロジェクトは、基本構想の重点戦略に基づき、戦略的な観点から総合的、横断的、優先的に取り組むものです。

牧之原市の地域経営に関わる複合的で本質的な課題の解決を進めるための作戦であり、既存の価値観に捉われない柔軟な手法による事業展開を図ります。

### ■重点戦略1

**活力を高め、若者が魅力を感じる住環境や雇用・教育環境などを実現する**

“活力”とは、元気よく、意欲的に、自主的に、活動したり働いたりする力とします。

牧之原市は、豊かな自然環境、魅力ある特産物、地域の強い繋がり、雇用の受け皿となる企業、多様な交通インフラなどの地域資源を有しています。これらの資源を意識し、磨きをかけ、豊かにし、横断的に人や組織が関わることで地域資源を最大限活用するとともに、住環境や雇用、教育環境などを充実します。

若者世代が魅力を感じる、未来に希望が持てる、住みたい牧之原市を実現します。

### ■重点戦略2

**共に支え、安心して想いが実現できる地域社会をつくる**

“共に支える”とは、生きがいの持てる安心な暮らしを実現するために、多様な個人が能力を発揮しつつ、自立して共に社会に参加し、支え合うこととします。

牧之原市は、これまでも温かみと強い繋がりを持つ地域社会を形成してきました。

お互いを理解し、認め合い、受け入れ、支え合うことで安心な暮らしを築くとともに、対話や活躍できる場を通じて学び、気づき、共感しながら地域に貢献できる社会を実現します。

子どもから高齢者、障がいを持つ人や男女の区別なく誰もが、支え合える、生きがいを感じられる、住みたい牧之原市を実現します。

### ■重点戦略3

**経営を見直し、推進力を高める体制を強化する**

前出の2つの戦略を強力に推進するためには、行政経営の基礎を固め、その実効性を高めることが必要となります。

既存事業の徹底的な見直し、施策の選択と集中、資産の適正化などを通じた行政経営の効率化に取り組み、重点投入可能な経営資源（予算、人財、資産）を確保します。

また、まちづくりの基礎となる情報の共有化や協働を推進するための仕組みづくりを強化するとともに、担い手になる人財の育成や活動支援を行います。

## 未来若者プロジェクト（若者をひきつける自立したまちづくり）

### 1 方向性

#### (1) まちづくりを担う民間プレイヤーの支援

- ・自然を活かしたアクティビティ、空き家・空き店舗を活かした商業やサービス業、特産品を活かした食、付加価値の高い農業、その他テクノロジーやノウハウを活かした新ビジネスの実施などに民間主体で取り組むプレイヤーを見出します。
- ・民間プレイヤーが行う地域経営課題の解決に資する事業計画の策定を支援します。
- ・その事業を支援し、市域に新たなサービスやライフスタイルを創出します。

#### (2) エリア再生や構想の策定

- ・商店街、沿岸部、里山などのエリア再生に資するエリア構想を策定します。
- ・構想の実現に公民の連携で取り組み、魅力あるエリアの創出に取り組みます。

#### (3) 若者が求めるサービスの充実

- ・民間プレイヤー及びその事業と行政の各施策の連携により、魅力ある子育て支援、教育、公園、交流空間、産業などを創出し、若者が訪れ、交流し、住む環境の充実を図ります。

### 【プロジェクト該当事業】

（単位：千円）

事業名 事業内容	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	R3	R4	R5	R6	
若者に魅力あるサービス等創出事業	先進事例の調査研究、公民連携の啓発講座の開催	先進事例の調査研究、公民連携の啓発講座の開催	※次期総合計画の位置づけに合わせて政策分野を検討	※次期総合計画の位置づけに合わせて政策分野を検討	6,500
民間との効果的な連携を図るため、地域課題の解決に資する民間事業を支援し、自立性、継続性のある事業としてのスタートアップを促進する。	大沢公園等エリア内の他施設の活用等の推進 他のエリアの構想策定と推進	日本一女性に優しいまちの実現に向け、女性の起業、活躍に重点的に着手			
ホストタウン推進事業	スポーツ・文化交流等の実施 強化合宿の受入	五輪（ホストタウン事業）のレガシーとして、選手育成等に繋げる米国サーフィン選手等との事後交流の実施	継続	継続	3,937
中華人民共和国並びにアメリカ合衆国を対象国としたホストタウン登録を契機に、両国と人的、経済的、文化的な相互交流を推進する。					
公園整備事業		公園遊具整備調査・計画業務委託 油田の里公園資料館屋根まわり改修 実施設計業務委託 ふるさと体験の森多目的広場給水工事	小堤山公園遊具設置、園路改修工事 油田の里公園資料館屋根まわり改修工事	小堤山公園園路改修工事 ゆうゆうらんど遊具設置工事	9,500
市内の公園において施設改修工事を行うことにより公園環境の整備促進を図る。					



事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	R3	R4	R5	R6	
<b>移住・定住促進事業 (定住促進奨励事業)</b>  市への移住定住を促進するとともに、結婚を支援し妊娠・出産、子育て支援等に繋げていくため、新婚世帯に対する住居費の助成や子育て家族の住宅取得について奨励金等を交付する。	新婚世帯への住宅費助成 子育て定住奨励金 東京圏からの移住者に対する補助金	継続	継続	継続	62,081
<b>図書館整備事業</b>  榛原文化センターの一部を改修し、図書館基本計画に基づく榛原図書館の機能拡充を図る。		改修設計	改修工事	完了	
<b>がんばる中小企業応援事業</b>  中小企業者等の経営課題等に対し、解決までの筋道を提示できる牧之原市ビジネスサポートデスク（まきサポ）を設置し、経営改善、創業などの相談を受ける。併せてセミナー等を開催し、中小企業等の振興を図る。	中小企業・小規模企業及び起業、創業希望者に対する相談業務実施（96件）	継続	継続	継続	1,734
<b>商工業振興支援事業</b>  中小企業の成長支援のための経費や新たな事業を創出する市内起業家、市内商業団体等が実施する市内イベント開催などの事業に対して支援を行う。 また、静波沿岸部に市の計画に沿った店舗等を誘致するため、一定の条件を満たし、店舗を新設した事業者へ補助を行う。	商品開発、販路開拓等への補助（4件） 市内イベント事業等への補助（2件） 市内起業家に対する補助（5件）	商品開発、販路開拓等への補助（2件） 市内イベント事業等への補助（5件） 市内起業家に対する補助（7件）  スタートアップ支援業務委託 デジタルクーポン事業（新型コロナ対策）	継続 （追加） 沿岸部の活性化に対する補助 （30,000㎡）	継続	
<b>雇用就労支援事業</b>  企業と就職希望者とのマッチングを推進し、雇用環境の充実を図るため、新卒者以外の就職希望者も含め、企業情報の発信やセミナー等を開催する。	産業雇用支援ネットワーク会議、若者就労支援相談会の開催  おかえりプロジェクト発足	継続 （追加） おかえりプロジェクト交流事業	継続	継続	221

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額	
	事業内容	R3	R4	R5		R6
マリンレジャー推進事業	年間を通した海岸の有効活用及び観光振興を図るため、全国レベルのマリンスポーツ大会やイベント事業の運営を支援する。	イベント開催支援 (中日本ライフセービング大会、サーフカーニバル、ビーチクリーンカップ、静岡サーフィン選手権、サーフスタジアムプロサーフィン大会)	継続 (ビーチクリーンカップ、サーフカーニバル・静岡サーフィン選手権・サーフスタジアム国際ジュニアサーフィン大会)	継続	継続	1,700
まきのはら活性化センター事業		まきのはら活性化センター運営負担金 (花火大会×2・初日の出祈願祭等)	まきのはら活性化センター運営負担金 (草競馬大会・花火大会×2・初日の出祈願祭等)	継続	継続	
牧之原市内の観光イベントの企画運営・観光商品開発・地場産品の開発と販売促進等商工振興事業による市内経済活性化を図る。	観光まちづくり推進業務委託					

## 高台開発プロジェクト（魅力ある高台開発の推進）

### 1 方向性

(1) 東名高速道路相良牧之原 I C 北側地区の開発の推進

- ・(仮称) 牧之原市 I C 北側土地区画整理組合が行う開発事業を支援します。
- ・同組合が選定した業務代行者と連携し、賑わい拠点づくりを進めます。

(2) その他の開発の検討

- ・県や関係市町と連携し、富士山静岡空港新幹線新駅の設置を進めるとともに、その状況に合わせて、新駅周辺の開発についても検討を行います。
- ・企業進出などに必要な用地の確保については、ニーズに合わせて整備を検討します。

【プロジェクト該当事業】

(単位:千円)

事業名 事業内容	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	R3	R4	R5	R6	
東名相良牧之原 I C 北側 開発事業	土地区画整理準備 組合支援 土地区画整理事業 助成金	土地区画整理準備 組合及び組合支援 土地区画整理事業 助成金	土地区画整理組合 支援 土地区画整理事業 助成金 道路改良工事に係 る測量・設計・補 償調査委託 道路拡幅に係る用 地取得費、物件補 償費	土地区画整理組合 支援 公園整備に係る設 計委託 道路拡幅に係る工 事	201,407
相良牧之原IC北側の複合的な用途に よる開発を行うため、土地区画整理 組合を支援し、土地区画整理事業を 通じた新たな拠点、賑わいの場の創 出を図る。					
相良牧之原IC北側地域 整備事業【新規】		東萩間1号線 用地補償 東萩間5号線 用地補償 東萩間8号線 道路改良 (L=50m)	東萩間1号線 道路改良 (L=50m) 東萩間5号線 道路改良 (L=50m)	完了	179,151
相良牧之原IC北側土地区画整理事業 に伴う施行地区隣接部の市道整備を 行う。					
相良牧之原IC北側地域の 排水路等整備事業		東萩間1号線流末 排水路改修 (L=175m)	東萩間1号線流末 排水路改修 (L=175m)	布引原18号線排水 路測量 (L=300m)	50,000
相良牧之原IC北側地域の土地利用の 促進と旧大井航空隊暗渠水路の廃止 を目的として、代替機能となる排水 路を整備するため、下流河川の改修 を実施する。					
萩間地区工業用地造成事業	不動産鑑定評価	区域外工事(河川改 修)設計業務	区域外工事(河川改 修)	完了	23,495
萩間地区における工業用地の大規模 開発に向け、早期実現を目指して事 業を推進する。					

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	R3	R4	R5	R6	
企業立地促進事業	工場等を新たに立地する企業への補助	継続	継続	継続	72,600
地域産業の振興及び就業の場の確保を図るため、市内に工場等を新設する企業等に対し補助金を交付する。					
多目的体育館整備事業	設計施工	設計施工 NearlyZEB認証取得に向けた設計	施工 備品整備 NearlyZEB認証取得に向けた施工・補助申請	供用開始 指定管理料	1,167,649
施設不足を解消するため、原子力災害時には要配慮者を収容する。平時には多くの市民が利用できる多目的体育館を整備する。					
放射線防護施設整備事業	相良地区放射線防護施設（造成・建築工事・備品） 牧之原消防署放射線防護施設「常用電源接続」	相良地区放射線防護施設Wi-Fi環境整備（電話込）	多目的体育館「エアシエルター」整備	完了	1,400
受入先などの準備が整い円滑に避難が出来るまでの間、PAZ圏内の要配慮者等の被ばくリスクを下げながら、安全に一時的な屋内退避を行うための放射線防護施設を整備する。					

## 公共施設最適化プロジェクト（公共施設マネジメントの推進）

### 1 方向性

#### (1) 公共施設マネジメントの計画的な推進

- ・取組の進捗状況に合わせて、公共施設マネジメント基本計画及び将来更新経費の時点修正を行い、計画の進行を管理します。
- ・先導的な取組に位置付けている旧片浜小学校の利活用については、運営事業者の株式会社マキノハラボによる管理運営を支援します。

#### (2) 個別分野への展開

- ・施設分類別の個別計画の策定を進めます。
- ・今ある施設を賢く使うことで、サービスの質の向上に努めます。
- ・個別計画に基づき、個別施設の更新、統廃合、長寿命化に計画的に取り組みます。

### 【プロジェクト該当事業】

（単位：千円）

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	R3	R4	R5	R6	
<b>学校再編計画推進事業</b> (旧 学校再編計画策定事業)  小中一貫教育を進め、魅力ある教育環境を実現するため、学校再編計画に基づき、新しい学校づくりをすすめる。	「学校再編計画基礎調査」実施・「学校再編計画」検討・策定	「学校施設整備基本構想・基本計画」(2校分)の検討・「学校施設修繕等計画」の検討・作成	「学校施設整備基本構想・基本計画」(2校分)検討・策定、用地取得	新しい学校の基本設計・実施設計(2校分)、用地取得	10,806
<b>保育園等施設マネジメント計画管理事業</b>  幼児教育・保育サービスの向上を図るため公立保育園、幼稚園、認定こども園の施設マネジメント計画を策定・実施する。	指定管理施設を民営化するための移管準備、検証及び公立保育所等を社会福祉事業団に移管するための準備	指定管理施設を民営化するため公立保育所民間移管審査委員会による審査及び民営化するための移管準備 公立保育所を社会福祉事業団に移管するため当初運転資金の助成	公立保育所を民営化するため審査委員会による審査 民意化した施設の後検証及び計画見直しの検討	公立保育所等の民間移管・適正配置の検討	42,780
<b>静和会館大規模改修事業</b>  地域住民の交流拠点となる隣保館の老朽化に対する改善を図るため、屋上防水、外壁クラック補修及び塗装等の大規模改修を実施。		改修工事実施設計	改修工事（屋根雨漏り修繕、外壁塗装、浄化槽設置）管理業務	完了	2,441

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	R3	R4	R5	R6	
<b>消防施設整備事業 (消防団組織再編)</b>  消防団は、地震津波等の災害時には、迅速な消火・救助活動が求められている。安全な消防団活動を確保するため、津波浸水区域に位置する分団詰所の統廃合及び詰所の耐震化を実施する。	詰所解体撤去工事設計業務委託（2箇所） 勝間田消防館建設（不動産鑑定料） 補正対応 詰所解体撤去工事（2箇所）	勝間田消防館新築工事設計業務委託 土地購入 小型動力ポンプ更新（3台）	新勝間田消防館新築工事 牧南器具置き場解体撤去工事設計業務委託 牧南器具置き場解体撤去工事 小型動力ポンプ更新（1台）	旧勝間田消防館解体撤去工事設計業務委託 中器具置き場解体撤去工事設計業務委託 小型動力ポンプ更新（1台） ポンプ車更新（1台）	48,416
<b>火葬場検討事業</b>  広域施設組合の火葬場は、耐用年数を経過していることから、地域や関係市町と協議の上、新施設整備の検討を進める。	基本構想 基本計画着手 候補地の調査、評価 候補地の決定	基本計画の策定 都市計画決定法定 手続 用地測量 不動産鑑定 環境アセス 用地買収	用地買収 都市計画決定 造成計画設計 建築基本計画 設計者選定 火葬炉メーカー選定	設計協議 建築基本設計 建築実施設計	14,212
<b>公営住宅等ストック総合 改善事業</b>  市営住宅ストックの長寿命化とライフサイクルコストの削減を図るため、計画的な施設の更新及び予防保全的管理を実施する。	波津西住宅1～4号棟・9～11号棟 解体工事実施設計業務委託 波津西住宅1～4号棟・9～11号棟 解体工事	湊団地補修工事設計業務委託 湊団地配水管等取替修繕	湊団地補修工事 山の手団地2～4・7・8号棟 解体工事実施設計業務委託 牧之原団地補修工事設計業務委託 牧之原団地排水等補修工事	山の手団地2～4・7・8号棟 解体工事 牧之原団地補修工事 牧之原団地排水等補修工事 ハイソ地頭方団地補修設計業務委託	15,405
<b>道路ストック補修支援事業</b>  道路施設の長寿命化を推進するため、事後保全から予防保全に転換し、道路ストック総点検結果に基づき、市道の橋梁やトンネルなど小規模な損傷の施設の調査・補修を実施する。	維持修繕の実施	継続	継続	継続	2,430
<b>(防災・安全) 道路ストック補修支援事業</b>  道路交通の安全性を確保するとともに、道路施設の長寿命化を推進するため、事後保全から予防保全に転換し、道路ストック総点検結果に基づき、市道の舗装や法面など特に傷みの程度が高い施設の補修を計画的に実施する。	計画に基づく維持修繕の実施	継続	継続	新規計画に基づく維持修繕の実施	131,000
<b>道路メンテナンス事業</b>  道路交通の安全性を確保するとともに、道路施設の長寿命化を推進するため、事後保全から予防保全に転換し、道路ストック総点検結果に基づき、市道の橋梁やトンネルなど特に傷みの程度が高い施設の補修を計画的に実施する。	計画に基づく維持修繕の実施	継続	継続	継続	88,335

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	R3	R4	R5	R6	
温泉会館大規模改修事業	館内LED化 軒天等改修 区画線改修	館内LED化	館内LED化 給湯機改修	源泉ポンプ購入 給湯機改修	12,164
さがら子生れ温泉会館の施設及び設備の老朽化が進んできているため、大規模改修を実施し施設の長寿命化を図る。					
地頭方公民館解体事業 【新規】		解体工事 実施計画	解体工事 (単年度) 1984年度建築 鉄骨平屋造  A=552㎡	完了 土地の返還	1,771
令和3年度をもって使用停止となったトーク地頭方の除却を行う。					

# ◆第3 実施計画

実施計画とは、第2次総合計画における基本計画の6つの政策、25の施策に基づく具体的な事業です。





## 1 方向性

### (1) 子どもを産み育てやすい環境づくり

- ・子どもが健やかに育ち、子どもを産み育てやすい環境づくりを計画的に進めます。
- ・社会全体で子どもや子育てを行う親を支援し、楽しく子育てができる体制や子育てと仕事が両立できる職場環境の整備などを関係団体と連携して進めていきます。
- ・妊娠、出産、育児までの切れ目ない母子保健の支援を行います。

### (2) 育児に関する相談などの支援

- ・子どもに対する虐待を防止するため、早期発見のための啓発や研修を実施します。
- ・こどもセンターを拠点として、子どもの成長過程に関する情報の一括管理、発達に課題のある子どもや保護者への専門的支援、育児全般に関する相談などの切れ目ない支援を行います。

### (3) 子育て支援に必要な交流拠点の確保

- ・子育て支援センター、放課後児童クラブ、児童館などの拠点を活用し、子育ての不安感や孤立感の緩和、子育て中の親や子どもの交流等を促進します。

### (4) 保育、幼児教育の充実

- ・私立の保育園、幼稚園の認定こども園化を支援することで低年齢児保育、一時預かり保育、病後児保育などに係るサービスを拡充し、保育ニーズに対応します。
- ・公立保育園などの民営化などを計画的に進めていきます。

### (5) 子育て世帯の経済的負担の軽減

- ・妊産婦の通院、子ども医療費などの経済的な負担を軽減するための支援を行います。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	現状値※1	目標値
合計特殊出生率	1.35	1.70
子どもを産み育てやすい環境だと感じる人の割合	35.3%	49.8%
子育て支援の取組に対する市民満足度	55.4%	61.2%
幼稚園、保育園、認定こども園等の充実への取組に対する市民満足度	66.7%	68.4%
こども医療費制度への取組に対する市民満足度	76.8%	75.5%

※1 令和4年3月における最新の数値

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
母子保健衛生事業	母子健診や相談、妊産婦健診産後ケアの実施聴覚スクリーニング費用 不妊・不育症治療費助成 小児生活習慣病予防事業	継続	継続	継続	35,871
母と子の心身の健康づくりや、妊娠を希望する夫婦を支援するため、必要となる相談、健診、助成を実施する。					
妊産婦通院等支援事業	3万円の商品券を購入し該当者に配布 (210人)	3万円の商品券を購入し該当者に配布 (210人) 妊娠期疾患治療費の助成	3万円の商品券を購入し該当者に配布 (200人) 妊娠期疾患治療費の助成	3万円の商品券を購入し該当者に配布 (200人) 妊娠期疾患治療費の助成	8,182
榛原総合病院の産科休診に伴う対応として、妊産婦の通院等に要する費用の一部を助成する。 また、妊娠期に起こりやすい疾患の治療費を助成する。					
子ども・子育て支援事業 計画策定事業	子ども・子育て会議の開催(2回)	継続	継続	子ども・子育て会議の開催(4回)	223
教育・保育及び地域子育て支援事業を提供する体制の整備と、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを地域で支援する環境の整備に取り組むための施策を体系化し、実施していく子ども・子育て支援計画の策定及び進捗管理を行う。			第3期子ども・子育て支援事業計画策定業務委託(アンケートやWS業務)	第3期子ども・子育て支援事業計画策定業務委託(策定業務)	
子育て支援連携システム 運用事業	システム等運用 保守 登録勧奨 広報強化	継続	継続	継続	2,838
ICTシステムを活用し、子どもの健康状態を電子データ化することで業務の効率化を図るとともに保護者への効果的な情報発信を行う。	※システム改修 メール通知用アプリ構築及び子育て総合サイトスマートフォン対応改修				
ファミリーサポート センター運営事業		継続	継続	継続	415
子どもを一時的に預けたい人とその支援をしたい人が会員となり、相互支援を行う。 仕事と子育てを両立できる環境や地域で子育てを支援する体制を整え、子育て世帯の負担を軽減する。					

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
放課後児童クラブ運営事業	放課後児童クラブの運営	継続	継続	継続	16,700	
児童の健全育成及び保護者の仕事と子育ての両立を推進するため、児童に適切な遊びや生活の場を提供する。						
こども医療費助成事業	高校生等までの入院、通院にかかる医療費（保険診療分）の助成	継続	継続	継続	184,079	
子育て世帯の経済的負担の軽減と早期受診による子どもの健全な育成のため、高校生までの医療費を助成する。						
民間保育所等支援事業 【一部新規】	保育サービスを支援するための各種補助金の交付等	継続 (追加) 指定管理民営化、事業団移管実施	継続	継続	77,179	
私立保育所及び私立認定こども園が行う教育・保育や各種サービスがスムーズに展開できるよう、補助金を交付し運営の推進を図る。第3子以降が産める環境を整備するため、第3子以降世帯に対して経済的支援を実施する。	3歳児以上第3子以降の副食費無償化	宿舍借り上げ支援による保育士確保				
ICT推進事業 【新規】		業務のICT化を図るためのシステム導入	完了		16,574	
新型コロナウイルス感染症拡大防止及び保育業務の効率化を図るため、補助業務（保育に関する計画管理・記録、保護者との連絡、登園管理業務）のICT化を推進する。		ICT化のための園内Wifi整備				
こどもセンター運営事業	発達支援専門相談、発達支援コーディネーターを中心とした園支援、園巡回訪問、連携会議の開催	継続	継続	継続	2,778	
育児全般に関する相談支援や関係機関との調整を行い、妊娠期から就労期まで節目におけるギャップのない「切れ目ない子育て支援」を実施。						
子育て支援センター運営事業	公設子育て支援センターの運営（2箇所） 民営子育て支援センター委託	継続	継続	継続	10,064	
子育ての不安感や孤立感を緩和するとともに、子どもたちの健やかな成長を支援するため、子育て支援センターを運営し、子育て中の親や子どもの交流等を促進する。						

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
相良児童館運営事業	児童館の運営 各種教室の開催 施設修繕	継続	継続 機能移転		1,403	
子どもに健全な遊びの機会を与え、健康増進と情操を豊かにするため、児童館において各種教室を開催する。						
榛原児童館運営事業	児童館の運営 各種教室の開催 施設修繕	継続	継続	継続	1,343	
子どもに健全な遊びの機会を与え、健康増進と情操を豊かにするため、児童館において各種教室を開催する。						
子育て支援センター相良等 移設改修事業		子育て支援 センター相良 等移設改修 事業 (施設設計委託)	子育て支援 センター相良 等移設改修 事業 (施設移設改修 工事)	完了	495	
子育て支援センター相良と相良児童館機能を移転整備し、施設の集約化と利便性の向上を図る。						
保育の質量確保事業 (保育園管理費)		公立保育園等改修工事 (地保外壁改修工事) 保育士研修 (子ども子育て課で実施)	公立保育園等改修工事 牧之原市独自の 人員基準の創設 保育士研修 (子ども子育て課で実施)	継続	5,687	
保育の質を確保向上するため、公立保育園の施設改修を行う。また、牧之原市独自の人員基準の創設に伴う人件費、保育士の資質・専門性の向上、労働環境の改善の取組み、保育士確保のための補助を行う。						
保育園等施設マネジメント 計画管理事業	指定管理施設を 民営化するための 移管準備、検証 及び公立保育所 等を社会福祉 事業団に移管す るための準備	指定管理施設を 民営化するための 公立保育所民間 移管審査委員会 による審査及び 民営化するための 移管準備 公立保育所を社 会福祉事業団に 移管するため当 初運転資金の助 成	公立保育所を民 営化するため審 査委員会による 審査 民意化した施設 の事後検証及び 計画見直しの検 討	公立保育所等の 民間移管・適正 配置の検討	42,780	
幼児教育・保育サービスの向上を図るため公立保育園、幼稚園、認定こども園の施設マネジメント計画を策定・実施する。						
保育園等施設マネジメント 施設整備事業				建て替えを前提 とした民営化の 実施に伴う施設 整備費の補助 (1園) ※5年毎に事業団 が施設整備を予 定。	0	
公立保育園、幼稚園、認定こども園の施設マネジメント計画により施設の民営化、適正配置を推進する。						

## 1 方向性

### (1) 地域包括ケアシステムの構築

- ・ 住み慣れた地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築を進めます。
- ・ 高齢者の活動や活動の場の確保を支援し、元気に活躍する高齢者を増やします。
- ・ 関係機関との連携を強化し、高齢者とその家族が適切で切れ目ない介護、福祉、医療サービスを利用できるようにします。

### (2) 健康づくりと介護予防の推進

- ・ 健康づくりや介護予防のため、介護予防教室後の共食の場活動、市の歌を活用した介護予防体操、リハビリ職によるロコモティブシンドローム予防と重度化防止を進めます。

### (3) 生きがいを感じる生活支援の充実

- ・ 高齢者が生きがいを感じ、自分らしく充実した生活を送るとともに、就労や社会参加活動、趣味などを通じて家庭や地域に貢献できるよう生活支援の仕組みを充実します。

### (4) 地域見守り、集いの場の充実

- ・ 高齢者が家庭や地域で孤立しないよう、地域の見守りや支え合い、集いの場の充実などを進めます。

### (5) 介護保険制度の運営

- ・ 介護給付の適正化のため、介護サービス事業者への指導を強化、充実していくとともに、国の制度改正に適切に対応し、介護保険の安定した運営に努めます。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
60歳以上の高齢者の外出頻度（週4～5日以上）	53.7%	66.6%
高齢者ふれあい・いきいきサロンの団体数	39 団体	49 団体
介護保険認定者で介護度が維持（軽減）できた人の割合	67.6%	70.0%
高齢者への福祉サービスの取組に対する市民満足度	53.8%	61.4%

※1 令和4年3月における最新の数値

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
<p>高齢者福祉施設整備事業</p> <p>現状分析や在宅介護実態調査等により必要な施設サービスの事業量を推計し、介護保険事業計画に老人福祉施設整備方針を位置付け、事業者への補助金交付等による施設整備の促進及び維持を図る。</p>	<p>サービス見込量の進捗管理、現状分析の実施</p> <p>新型コロナウイルス感染症防止に係る補助事業の実施</p>	継続	継続	第9期介護保険事業計画に位置付けた施設整備に係る事業者の公募・選定	0	
<p>介護保険事業計画等策定事業</p> <p>介護保険事業の円滑な事業推進を図るため、人口推計や各種サービスの利用量などを分析し、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定する。</p>	<p>第8期介護保険等事業計画等の進捗管理</p> <p>懇話会開催(全体会1回)</p>	<p>継続(全体会2回)</p> <p>次期計画等の策定のためのアンケート調査実施</p>	<p>継続(全体会4回)</p> <p>第9期介護保険等事業計画等の策定</p> <p>パブリックコメントの実施</p>	<p>第9期介護保険等事業計画等の進捗管理</p> <p>懇話会開催(全体会2回)</p>	2,483	
<p>いきいき高齢者支援事業</p> <p>高齢者が健康で生きがいを持って健やかに暮らすことができるよう、また、要介護などの状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で生活できるようにするため、既存団体を活用した見守り支援や包括的な支援を実施する。</p>	<p>敬老事業、補助金の交付(シニアクラブ、サロン団体、運転免許証自主返納)、家族介護手当給付、高齢者福祉サービスの実施</p> <p>(サロン:43団体、運転免許自主延納者:230人、家族介護手当:174人)</p>	<p>継続</p> <p>(サロン:43団体、運転免許自主延納者:230人、家族介護手当:178人)</p>	<p>継続</p> <p>(サロン:44団体、運転免許自主延納者:240人、家族介護手当:183人)</p>	<p>継続</p> <p>(サロン:45団体、運転免許自主延納者:250人、家族介護手当:188人)</p>	15,878	
<p>アクティブシニア活躍支援事業(特会)</p> <p>「介護人材確保」と「高齢者の社会参加による介護予防」を一体的に進めるため、元気高齢者の介護現場における活躍支援事業を実施する。</p>	<p>高齢者の介護予防と就労的活動支援に係る研修及びマッチング事業の実施・前年度事業の評価検証</p>	継続	継続	継続(※3年毎の事業計画により定める)	1,242	

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
生活支援・介護予防充実・ 強化事業（特会）	ボランティアの育成・支援、組織化、協議体の開催、包括の相談業務の充実、介護予防サービス	継続	継続	継続（※3年毎の事業計画により定める）	155,838	
高齢者が地域で生きがいを持ち、活き活きとその人らしく生活ができるよう、生活支援コーディネーターや社会福祉協議会が中心となり、ボランティアの発掘・養成・組織化を行う。 包括的支援業務は居宅における自立支援・要介護状態等の軽減や悪化防止のため、保健医療・福祉サービスを総合的かつ効率的に提供する。 そのほか、介護予防を目的としたサービスの提供や住民主体の活動を支援する。						
認知症施策推進事業 （特会）	認知症地域支援・ケア向上事業の実施 認知症初期集中支援チームの稼働 認知症サポーター養成講座実施（学生、事業所向け） 本人ミーティングの実施方法を検討	継続 本人ミーティングの実施	継続	継続（※3年毎の事業計画により定める）	1,916	
認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で生活し続けられる社会の実現のため、認知症の予防啓発事業の実施や講演会の開催、認知症地域支援推進員の配置等を実施する。						

## 1 方向性

### (1) 安心して暮らせる地域づくり

- ・全ての人々が地域社会の中で認め合い、支え合い、寄り添い、安心して幸せに暮らせる温もりある地域社会づくりを計画的に進めます。
- ・障がいのある人が安心して外出し、交流することができるようバリアフリーやユニバーサルデザインを推進します。

### (2) 社会参加しやすい環境づくり

- ・障がいに対する理解を深めるための啓発、交流の場や活動機会の創出、ボランティアなどの社会参加がしやすい環境づくりに取り組みます。

### (3) 各種サービスの提供、保育、教育、療育の充実

- ・障がいのある人の生活の質を向上するため、障害者総合支援法などに基づき、障がいのある人の状況やニーズに応じた保育、教育、療育、その他の多様なサービスの充実を図ります。

### (4) 雇用、就労の促進

- ・障がいのある人が経済的に自立し、主体的で生きがいある生活を送るため、各種支援制度を活用して、生き活きと働ける雇用や就労を促進します。

### (5) 災害時のネットワーク、防災体制の構築

- ・災害時に支え合える地域づくりや障がいの種別、状態、特性などに対応した防災体制の整備を進めます。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
障がいのある人にとって暮らしやすいと感じている人の割合	29.5%	35.0%
障がい者雇用率	2.53%	3.0%
障がい者への福祉サービスの取組に対する市民満足度	51.4%	61.7%

※1 令和4年3月における最新の数値



### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
障害者自立支援事業	実施内容は、以下の1～10のとおり	実施内容は、以下の1～10のとおり	実施内容は、以下の1～10のとおり	実施内容は、以下の1～10のとおり	98,744	
障がい者及び障がい児がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、「障害者計画」を策定し、各種支援事業を実施する。						
①障害者計画等策定事業	第3次障がい者計画等の進捗管理	第3次障がい者計画の進捗管理アンケートの実施	第4次障がい者計画策定 第7期障がい福祉計画、第3期障がい児福祉計画策定委員会の開催(4回)	第4次障がい者計画等の進捗管理	2,547	
障害のある人の人権が尊重され、自立と社会参画を進めるため、保健・医療・福祉分野のみならず、啓発面や教育・就業・生活環境など、長期的な施策を体系化し、実行する障害者計画を策定する。		策定委員会の開催(2回)				
②相談支援事業	相談支援専門員による相談や情報提供(5,550件)	継続	継続 基幹相談支援センター(0.5人増員)	継続	31,685	
障がい者等が自立した日常生活、社会生活を営むことができるようにするため、相談に応じ、必要な情報提供等の便宜の供与や、権利擁護のために必要な支援を実施する。	基幹相談支援センター(1か所広域設置)					
③地域活動支援センター運営事業	精神障がい者等の居場所確保等を実施(延4,284人)	継続	継続	継続	12,750	
障がい者の社会的孤立感の解消や社会交流促進のため、通所施設において、創作活動や生産活動の機会を提供し、地域で自立した日常生活が営めるよう支援する。						
④意思疎通支援事業	聴覚障がい者の通院時等に手話通訳者等を派遣(延70件)	継続 (延70件) (入門講座21講座)	継続 (延70件) (基礎講座25講座)	継続 (延70件) (入門講座21講座)	1,044	
聴覚、言語機能、音声機能障がい者等への意思疎通の円滑化を図るため、手話通訳者や要約筆記者を派遣する。また、手話通訳者を養成する講座を開催する。	手話奉仕員養成講座を開催(基礎編25講座+振り返り講座)					

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
⑤難病患者介護家族 リフレッシュ事業	難病患者の介護 家族に看護師を 派遣(5回)	継続	継続	継続	72
介護に従事している難病患者の家 族の負担を軽減するため、看護師 を派遣する。					
⑥移動支援事業	買い物等の外出 を支援するガイ ドヘルパーを派 遣(2,600件)	継続	継続	継続	6,977
障がい者等が地域で自立した日常 生活を営むとともに社会参加を促 すため、外出のための支援を実施 する。					
⑦日中一時支援事業	自立指導等の実 施(490件)	継続	継続	継続	1,547
障がい者等の家族の就労支援及び 一時的な休息を確保するため、障 がい者等の日中における活動の場 を提供し、日常的な訓練等の支援 を実施する。					
⑧訪問入浴サービス事業	重度の障がい者 を訪問し、入浴 サービスを実施 (200件)	継続	継続	継続	2,393
在宅の身体障がい者等の生活を支 援するとともに、身体の清潔の保 持や心身機能の維持等を図るた め、訪問により入浴サービスを提 供する。					
⑨つくしの家管理運営事業	療育訓練が必要 な障がい児に個 別指導等を実施	継続	継続	継続	31,000
障がい児が自立した日常生活、集 団生活を営むことができるように するため、日常生活における動作 指導、知識技術の付与、集団生活 への適応訓練などの支援を実施す る。					
⑩施設入浴サービス事業	在宅障がい者 (児)に入浴サ ービスを実施 (850件)	継続	継続	継続	8,729
自宅浴槽での入浴が困難な身体障 がい者等が身体の清潔の保持や心 身機能の維持等を図るため、施設 の入浴設備を利用し、入浴サー ビスを提供する。					

## 1 方向性

### (1) 市民総がかりでの健康づくり

- ・ 地区担当の保健師を配置し、地域の健康課題と目標を明確にするとともに、積極的な地区活動を展開します。
- ・ 市民一人ひとりが健康を意識した生活を実現するために、行政、企業、関係団体等の協働・連携による健康づくりを推進します。

### (2) 健康の保持

- ・ 病気や介護の予防に重点を置き、各種健診の充実や妊娠期を含め乳幼児から高齢期までのライフステージに応じたサービスを提供します。
- ・ 生活習慣の改善のための予防啓発を進めます。
- ・ 楽しみながら取り組める工夫や幼少期からの教育などにも取り組んでいきます。

### (3) 食育の推進

- ・ 全てのライフステージに共通する栄養については、地域の特産品を活かした特色ある食育に併せ、社会環境整備を更に推進して、健全な食生活による健康づくりを目指します。

### (4) 運動による健康づくり

- ・ メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、認知症予防などに効果的な軽スポーツや体操の普及を進めます。
- ・ 気軽にスポーツや運動を楽しめる環境を整備します。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
お達者度（男性）	18.09	19.08
お達者度（女性）	21.77	21.84
75歳未満調整死亡率	195	160
1日30分以上の運動をする頻度	35.6%	47.0%
健康づくりサービスの推進への取組に対する市民満足度	50.4%	65.3%
健康相談など日常的な保健活動への取組に対する市民満足度	51.8%	67.1%

※1 令和4年3月における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
<p>社会体育振興事業</p> <p>心と身体健康づくりのため、スポーツ推進委員会を中心に多種多様なスポーツの普及を図るとともに、市民により多くの運動の機会を提供する。</p>	<p>スポーツ・健康教室等の推進 (幼児運動、軽スポーツの普及、大会開催)</p> <p>マリンスポーツイベント開催</p>	<p>スポーツ・健康・マリンスポーツ教室等の推進</p> <p>B&amp;G財団支援事業 災害時相互支援体制構築事業 スポーツ推進計画の見直し ジュニア育成陸上記録会の支援 小中学生・高校生のサーフィン教室等の支援</p>	<p>スポーツ・健康・マリンスポーツ教室等の推進</p> <p>B&amp;G財団支援事業 災害時相互支援体制構築事業 ジュニア育成陸上記録会の支援 小中学生・高校生のサーフィン教室等の支援</p>	<p>スポーツ・健康・マリンスポーツ教室等の推進</p> <p>ジュニア育成陸上記録会の支援 小中学生・高校生のサーフィン教室等の支援</p>	11,082	
<p>体育施設整備（グラウンド芝生化事業）</p> <p>屋外社会体育施設グラウンドの芝生化について、実施に向けた検討を行う。</p>	<p>グラウンド芝生化整備、運営手法の検討</p>	<p>グラウンド芝生化整備、運営手法の検討</p> <p>カタショーグラウンドでの実施状況を検証</p>	<p>グラウンド芝生化整備、運営手法の方針協議</p>	<p>グラウンド芝生化整備、運営手法等の関係団体等との協議</p>	0	
<p>社会体育施設修繕事業</p> <p>既存体育施設の機能を充実させるため、計画的に施設修繕を実施する。</p>	<p>相良B&amp;G海洋センター大規模改修 相良B&amp;G濾過装置補修工事 社会体育施設雨漏り修繕等</p>	<p>ぐりんばるグラウンドBC面LED夜間照明器具取替、相良総合G横トイレ撤去工事、地頭方体育館軒天補修及び倉庫床修繕、相良B&amp;G海洋センター屋外階段補修、ぐりんばる駐車場陥没補修と駐車ライン引き、静波体育館鉄骨錆止め塗装及び内壁補修、ぐりんばる排水不良対策整地工事</p>	<p>ぐりんばる夜間照明灯殺虫灯改修、静波Gトイレ改修、B&amp;G体育館雨漏り修繕等</p>	<p>ぐりんばる暴風ネット修繕・駐車場補修、静波体育館LED化改修、静波G夜間照明灯修繕、相良総合G夜間照明灯修繕・フェンス修繕、B&amp;Gプール外周フェンス改修、片浜体育館LED化改修等</p>	19,045	
<p>予防接種事業</p> <p>感染症の蔓延を防ぎ、市民の健康維持を図るため、集団・個別接種による定期予防接種を実施、勧奨する。</p>	<p>個別・集団接種の実施、勧奨 高齢者肺炎球菌経過措置延長 風しん第5期予防接種</p>	<p>個別・集団接種の実施、勧奨 高齢者肺炎球菌経過措置延長、 風しん第5期予防接種経過措置、子宮頸がんワクチン積極的勧奨開始・ キャッチアップ接種</p>	<p>個別・集団接種の実施、勧奨 高齢者肺炎球菌経過措置延長、 風しん第5期予防接種経過措置、子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種</p>	<p>個別・集団接種の実施、勧奨、 風しん第5期予防接種経過措置、 子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種</p>	154,248	

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
健康増進支援事業	計画推進会議(10回) 計画推進イベント0回 ヘルシーメニュー推進協力店(36店舗) 健康マラソン 受動喫煙対策の啓発 自殺対策の推進 若年がん患者費用扶助制度 保健師の地区担当制の推進	継続 (追加) 重点施策 (ウォーキングコース整備、小学生の生活習慣病予防教育の充実)について、コロナ禍に対応する計画見直しを含めた具体策の検討	継続 (追加) 重点施策の実行 計画策定アンケート調査	継続 (追加) 第4次計画策定	1,697	
市民の健康寿命の延伸や生活の質向上のため、第3次健康増進計画、第3次食育推進計画に基づき、ライフステージに合わせた健康づくり事業を実施する。(計画期間R2-6) 自治会主体の健康に関する事業実施を推進する。	第4次計画策定に係るアンケート、構成等の見直し					
保健事業	複合がん検診(57日) 婦人科検診(15日) 健康教育(150回) 健康相談(100日) 訪問指導(600件)	継続	継続	継続	32,943	
市民の総合的な健康増進を図るため、生活習慣病の予防と早期発見・早期治療を図る健康づくり事業を実施する。						
感染症対策事業	コールセンター委託 受付システム導入 ワクチン接種の実施	未定	未定	未定	164,769	
新型コロナウイルスの蔓延を予防するため、市民へのワクチン接種を実施する。						
感染拡大防止検査費用助成事業	高齢者施設等新規入所者検査費用助成 施設従事者等検査費用助成	高齢者施設等新規入所者検査費用助成 施設従事者等検査費用助成 新型コロナウイルス感染者周辺検査 簡易抗原検査キット購入	廃止		3,810	
新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、高齢者施設に新たに入所する者や、陽性者が確認された施設等の利用者及び職員が受検するウイルス検査費用の一部を助成する。						
感染症自宅療養者支援事業		食料300セット 郵送料(食料300、パルスオキシメーター10)	未定	未定	1,893	
新型コロナウイルス感染症による自宅療養者に対し、パルスオキシメーターの貸与と食料支援を行う。						
子育て応援特別給付金事業		1児につき10万円の支給(220人)	1児につき10万円の支給(210人)	1児につき10万円の支給(200人)	22,000	
コロナ禍において子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、1児につき10万円を支給する。						

## 1 方向性

### (1) 地域医療の充実

- ・医療関係者と協議を進め、榛原総合病院の運営を含めた地域医療の充実に努めます。

### (2) 保健医療圏での連携、ネットワークの構築

- ・医療法による保健医療圏での医療体制に基づき、開業医を中心とした一次救急、榛原総合病院を中心とした二次救急及び救急医療の体制を整備します。
- ・二次救急においては、志太榛原二次保健医療圏の病院相互の連携における榛原総合病院の役割を明確化するなど、周辺市町と連携した医療ネットワークを構築します。

### (3) 医師の確保

- ・開業医などの医療関係者と市民による検討会を通じて、地域医療の現状や志太榛原二次保健医療圏における役割を共に学びながら、市全体で地域に必要な医療の確保に努めます。
- ・地域医療の支えとなる開業医の確保についても医師会等と連携しながら積極的に取り組みます。

### (4) 在宅医療の推進

- ・在宅医療については、地域や家庭で支え合うことへの市民の理解を深めるとともに、医療関係者や福祉関係者との連携体制を構築し、推進します。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
開業する医師数（4年間）	2件	4件
在宅医療連携拠点の整備	55.7%	60.0%
在宅医療連携拠点の整備	55.7%	60.0%

※1 令和4年3月31日時点における最新の数値

※2 榛原総合病院で受けた救急患者を2次医療圏内の他病院へ転送した割合

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
医療体制整備事業	<p>榛原総合病院組合への負担金繰出し</p> <p>負担率66.355%</p> <p>地域の中核病院である榛原総合病院の安定的な運営のため、構成市町として榛原総合病院組合の病院事業会計へ負担金の繰出しを行う。</p>	<p>継続</p> <p>負担率66.035</p>	<p>継続</p> <p>負担率 未定</p>	<p>継続</p> <p>負担率 未定</p>	779,213
地域医療対策事業	<p>救急医療体制の確立</p> <p>救急医療を提供するため、救急患者に即応する医療体制を確立する。</p> <p>市内医療関係機関との連絡調整及び協議の場を設置し、地域医療を確保する。</p> <p>①地域医療対策一般事務 ②救急医療協力促進事業 ③救急医療対策事業 ④第2次救急医療施設運営事業</p>	<p>継続</p>	<p>継続</p>	<p>継続</p>	20,357
地域医療振興事業	<p>開業資金補助 新規開業1件</p> <p>地域医療計画策定</p> <p>市内に診療所等を開設する医師等に対し、開設等にかかる費用の一部を助成することによって、市民が安心して医療サービスを受けることができる医療体制を構築する。</p> <p>市民参加による地域医療のあり方検討会を開催し、検討会の提言を基に地域医療計画を策定する。</p>	<p>継続</p>	<p>継続</p>	<p>継続</p>	50,114
災害時医療対策事業	<p>医療救護訓練2回実施</p> <p>救護所医薬品、救護所備品購入 (トリアージタグ、サージカルテープほか)</p> <p>医薬品等備蓄センター管理運営費負担金</p> <p>予想される南海トラフ地震等の災害から市民の生命と健康を守るため、医療機関や自主防災組織と緊密な連携のもと、円滑な医療救護体制を確立する。</p>	<p>継続</p>	<p>継続</p>	<p>継続</p>	245

## 1 方向性

### (1) 地域共生社会の実現

- ・地域における複合的な課題の解決のため、高齢者、障がいのある人、子どもその他の福祉に関し、共通して取り組むべき事柄を示した地域福祉計画を推進します。

### (2) 担い手の育成と連携体制の構築

- ・地域福祉に係る情報発信や啓発活動を通じ、市民の主体的な取組意識を高めます。
- ・活動の担い手を支援し、地域福祉を担う人材を育成します。
- ・市民の主体的な学びや活動への参加である自助を中心として、支え合いによる共助、行政の取組である公助に取り組むため、各種団体が連携・協働した推進体制を構築します。

### (3) 地域を基盤とする包括的支援の強化

- ・地域包括ケアシステムの理念を高齢者のみに留めず、障がいのある人、子ども、生活困窮者等への支援にもあてはめ、社会的な孤立、制度の狭間、福祉サービスにつながらない課題等にも対応した包括的な支援体制を構築します。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
ボランティア登録者数	657 人	760 人
地域の福祉にかかわるボランティアの活動や取組に対する市民満足度	49.5%	56.4%

※1 令和4年3月における最新の数値



### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
地域福祉計画等策定事業	推進協議会の開催(1回)	推進協議会の開催(3回) アンケート実施	市地域福祉計画等策定業務委託 推進協議会の開催(4回) 意見交換会ファシリテーター謝礼	完了	2,116
地域福祉の推進において、行政や社会福祉協議会だけでなく、市民の福祉への参加・協力のもと、それぞれが役割を果しながら助け合い、支え合っていくための施策を体系化し、実行していく地域福祉計画を策定する。					
社会福祉協議会事業費助成事業	市社協に補助金を交付 社会福祉主事等の確保に協力	継続	継続	継続	57,796
住民がお互いに支え合う地域福祉活動の推進を図り、住み慣れたまちで安心して生活することができるようにするため、地域福祉活動の中核となる社会福祉協議会に補助金を交付する。					
成年後見制度利用促進事業	中核機関運営 市民後見人の養成 協議会の開催	継続 市民後見人の養成 成年後見センター(0.5人増員)	継続	継続 市民後見人の養成	8,993
認知症や障害などによって、判断能力が十分でない高齢者や障害者の権利を守るため、成年後見制度の利用を支援する体制を構築する。					
生活困窮者自立支援事業【一部新規】	自立相談支援 住居確保給付金 被保護者就労支援 家計相談支援 学習・生活支援 健康管理支援	継続 (追加) 一時生活支援	継続	継続	28,503
生活保護の手前の段階にある生活困窮者の支援を図るため、自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、家計相談支援事業、学習・生活支援事業、就労支援事業及び健康管理支援事業を実施する。					
静和会館大規模改修事業		改修工事実施設計	改修工事(屋根雨漏り修繕、外壁塗装、浄化槽設置) 管理業務	完了	2,441
地域住民の交流拠点となる隣保館の老朽化に対する改善を図るため、屋上防水、外壁クラック補修及び塗装等の大規模改修を実施。					

## 1 方向性

### (1) 確かな学力を身に付け、生きる力を育む教育

- ・学校と地域や企業が連携・協働し、地域を知る、郷土愛を醸成する、地域素材を活用するなどの特色ある教育を実践します。
- ・知識及び技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力などの確かな学力を身に付ける授業づくりのため、授業改善に取り組みます。
- ・国際理解やコミュニケーション能力の向上、モノづくりの基礎となる理科教育の充実、ICTを活用した授業など、児童生徒が一步踏み出す追究となる学習を進めます。
- ・変化が激しく、先行き不透明な時代に対応できるよう、たくましく生き抜く力を育みます。

### (2) きめ細かな学校生活の支援

- ・牧之原市で生まれ育った全ての児童生徒が充実した教育を受けられるように、特別支援教育を更に充実します。
- ・いじめ、不登校、問題行動などの防止、早期発見、解決を図るための相談体制を充実します。

### (3) 学校施設の改修と更新

- ・学びやすい教育環境の実現に向け、施設や設備の改修等を行います。
- ・教育のあり方検討委員会からの答申を基に学校のあり方（小中学校の配置や規模）の検討を進めます。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
授業がわかると思う児童・生徒の割合	87.7%	90.0%
英語が好きという児童・生徒の割合	85.4%	90.0%
ICTを使って分かりやすく、発表や表現ができる児童・生徒の割合	85.3%	90.0%
子どもを合わせたいと思える学校づくりへの取組に対する市民満足度	53.8%	61.9%

※1 令和4年3月における最新の数値

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
学校図書館司書配置事業	図書館司書4人による図書室の環境整備、図書の授業への活用推進	継続	継続	継続	0	
授業で活用する本や資料の準備、子どもたちが気軽に活用できる図書室の環境づくりのため、学校図書館司書を配置し、市内全校の図書室の充実を図る。						
学習支援サポーター配置事業	学習内容につまづく児童生徒の支援、特別な支援が必要な児童生徒への支援を実施 市内で17人配置	継続 市内で19人配置	継続 市内で24人配置	継続 市内で25人配置	0	
学習内容における基礎基本を確実に習得するため、児童生徒の様々な特性に応じて学習活動の支援を行い、きめ細やかな授業を实践する。						
英語力向上サポート事業	ALT配置(5人) 外国語活動の実施(小学生) イングリッシュキャンプの実施 英語検定へのチャレンジ 外国語活動指導力向上研修会	継続 外国語活動指導力向上研修会	継続 英語力定着度調査業務委託	継続 英語力定着度調査業務委託	20,258	
児童生徒がこれからの国際社会に必要な資質やコミュニケーション能力を養うため、ALT(外国人英語指導助手)を配置して外国語活動を低学年から行なうとともに、休日や長期休暇を利用したイングリッシュキャンプを企画実施する。						
ICT活用推進事業	GIGAスクール構想(1人1台端末の修繕) 牧之原市ICT教育推進構想(ICT研究員研修、プログラミング教育)	継続 (追加) GIGAスクール構想(ICT支援員の配置)	継続 (追加) 牧之原市ICT環境整備計画(書画カメラ購入)	継続	41,663	
学習内容の定着を高めるため、さらに情報機器の活用力を身につけるために、校内LANや電子黒板、タブレット等を整備し、実践研究を進める。また、民間と連携したプログラミング学習を通し、児童生徒の論理的思考力や問題解決能力等を育む。						
理科支援員配置事業	理科授業の環境整備を支援(理科支援員4人配置)	継続	継続	継続	0	
理科授業をより効果的に進め、児童の理科への興味関心を高め、学力向上につなげる。理科支援員を4人配置し、実験準備など理科授業の環境整備を支援する。						

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
コミュニティ・スクール推進事業	コミュニティ・スクール未設置校の準備会 設置済校における活動への支援	コミュニティ・スクール活動への支援	継続	継続	6,074
地域と学校が同じ目標に向かって教育活動を推進するため、組織を立ち上げ、地域学校協働活動と一体的なコミュニティ・スクールの設置について研究・協議を行う。モデル校での試行を経て全校に設置し、活動を推進する。	令和3年度設置 (相良・菅山・地頭方・川崎・細江・坂部小、榛原中)				
小中一貫教育推進事業	キャリア教育を軸にした小中一貫教育についての協議・研究・推進(アースランチ、先進地視察) 研究指定校 榛原中学校区 (5小中学校)	継続 研究指定校 榛原中学校区 (5小中学校) 相良中学校区 (4小中学校)	継続 研究指定校 相良中学校区 (5小中学校)	継続	1,561
キャリア教育を軸とした義務教育9年間の系統立てた学びの実現に向けて、牧之原市に合った小中一貫教育の計画をし、分離型小中一貫校を推進する。再編時期の4年前からは新たな小中一貫校に向けて調整・検討を行う。	研究指定校 榛原中学校区 (5小中学校)				
外国人児童生徒教育支援事業	バイリンガル相談員による日本語支援及び保護者との相談活動 (相談員3人)	継続 (相談員4人)	継続 (相談員5人)	継続 (相談員5人)	0
日本語での会話や読み書き等が不十分な児童生徒に対し、学習への適応指導を図るため、日本語支援及び保護者との相談活動等を実施する。					
スクールソーシャルワーカー配置事業	ケース会議の開催など (学校等訪問250回、支援児童・生徒450人)	継続	継続	継続	900
不登校や問題行動等の課題を解決するため、スクールソーシャルワーカー(社会福祉士)を配置し、家庭や地域との連携を支援する。					
児童放課後学習支援事業	放課後の時間を活用した学習支援 学習相談を実施 小学校：週3時間 中学校：週1時間	継続	継続	継続	934
学習内容の定着が十分でない児童に対して、基礎的な内容を身に付けさせる学習の場を提供するため、放課後の時間を活用し、学習支援や学習相談を実施する。					

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
学校施設改修事業	川崎小学校（A・B棟）改修工事の実施	坂部小学校屋外トイレ改修工事設計業務委託の実施	坂部小学校屋外トイレ改修工事の実施	完了	500
学校の教育環境の改善を図るため、屋上防水、外壁クラック補修及び塗装、内装工事等、計画的な改修を実施する。					
小中学校特別教室空調設備整備事業	特別教室（理科室）空調設置工事（市立小7校9台） 相小2台、菅小1台、萩小1台、地小1台、川小2台、細小1台、勝小1台	特別教室（音楽室）空調設置工事（市立小6校9台） 相小2台、菅小1台、萩小1台、川小2台、細小2台、勝小1台	事業完了		27,000
市立小中学校の特別教室に空調設備を設置し、教育環境の改善を図る。					
学校再編計画推進事業 （旧 学校再編計画策定事業）	「学校再編計画基礎調査」実施・「学校再編計画」検討・策定	「学校施設整備基本構想・基本計画」（2校分）の検討・「学校施設修繕等計画」の検討・作成	「学校施設整備基本構想・基本計画」（2校分）検討・策定、用地取得	新しい学校の基本設計・実施設計（2校分）、用地取得	10,806
小中一貫教育を進め、魅力ある教育環境を実現するため、学校再編計画に基づき、新しい学校づくりをすすめる。					

## 1 方向性

### (1) 社会教育活動の実施

- ・市民のライフスタイルやライフステージに応じた多様な学習機会の提供、地域での活躍の場の創出などを通じて、地域教育力を高めます。
- ・若者の自分磨き、地域による家庭教育力の向上の支援、学力向上と放課後の居場所づくりのための学習スペースの確保、高齢者の生きがいつくりなどの交流・学習の場の創出を支援します。

### (2) 図書館機能の充実

- ・図書のインターネットでの所蔵検索や県内図書館の横断検索を可能とするなど、図書館の利便性の向上を図るとともに、他の図書館との連携強化を図ります。
- ・既存の図書館と交流の場等との複合化を図り、図書館機能を充実します。

### (3) 芸術文化の体験

- ・芸術文化に誰もが気軽に参加し、触れ合い、体験できる機会をつくります。

### (4) 地域の歴史の継承

- ・地域の文化財を包括的に調査、活用することにより、郷土の歴史への関心と理解を深めるとともに、史料の展示公開を通じて地域を学ぶ機会を創出します。
- ・地域の歴史や偉人の功績を顕彰し、市民の郷土愛を育みます。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
こども体験事業への参加者数	45 人	2,500 人
市文化祭の参加者数	6,402 人	6,000 人
史料館の利用者数	6,561 人	18,000 人
図書館の機能充実や図書館整備に関する取組に対する市民満足度	52.9%	48.5%
生涯学習やサークル活動への参加機会の提供に対する市民満足度	59.5%	60.0%
家庭や地域での子どもたちへの教育力向上の取組に対する市民満足度	49.6%	59.5%
文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取組に対する市民満足度	42.0%	53.3%

※1 令和4年3月における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
青少年健全育成事業	各種団体と連携、協力した補導活動や商店立入調査などの実施	継続 (追加) 成人年齢の引き下げにより名称を「はたちの集い」に変更し、20歳での式典を継続	継続	継続	1,743	
心豊かでたくましい青少年の育成を図るため、地域・家庭・学校と連携した青少年健全育成事業を実施する。 また、市及び実行委員会主催の二十歳の集いを開催する。	成人式の開催 (映像配信)	軒先運動等を継続して実施				
市民学習推進事業	はりはら塾、田沼塾による生涯学習、学習の成果発表会を実施。	継続 はりはら塾、田沼塾一本化のための準備委員会の立ち上げ。	継続 はりはら塾、田沼塾を一本化し、新たな事業として開始	継続 生涯学習事業に対する支援を継続	4,798	
豊かな生涯学習社会の形成を推進するため、市民が生きがいとなる様々な学習をしたり、成果を発表したりする場を提供する。						
子ども体験プログラム推進事業	自然体験など体験活動の場を提供	継続 14教室	継続 14教室	継続 14教室	665	
創造力育成のため、地域の指導者とのふれあいにより、家庭や学校生活ではできない自然体験などの活動の場を提供する。	(教室数18教室⇒14教室へ減額)					
こどもがつくるまち事業	「まきのはらキッズ夢サポーター」主体による「KIDS TOWN ぼくらのまちはら」の実施	継続	継続	継続	1,300	
子どもが主体となり、子どもならではの発想でつくる夢のまち「KIDS TOWN ぼくらのまちはら」に市内小中学生が参加し、働く、収入を得る、消費するという、一連の社会の仕組みを遊びを通じて学ぶ。						
図書交流館管理運営事業	図書交流施設開館	継続	継続	継続	25,222	
読書環境の向上と読書習慣の定着化を図ることを目的に、市民のニーズを把握した図書館の管理運営を行う。	書籍購入 1,485冊					

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
榛原図書館管理運営事業	図書館サービスの充実、読書推進活動の実施  読書環境の向上と読書習慣の定着を図ることを目的に、市民のニーズを把握した図書館の管理運営を行う。	継続	継続	継続	2,949	
移動図書館管理運営事業	移動図書館による読書推進活動の実施  市の図書館を利用できない遠隔地の市民に読書の普及を図るため、移動図書館車を運行して図書の貸出を実施する。	継続	継続	継続	1,736	
文化振興事業	市民の芸術文化振興事業への支援を行う事業 ・文化祭の開催 ・文芸まきのはら発行 ・団体への補助  文化意識の高揚と芸術活動の活性化を図るため、文化振興活動や文化振興に係る事業を支援する。	市民の芸術文化振興事業への支援を行う事業 ・文化祭の開催 ・文芸まきのはら発行 ・将棋タイトル戦誘致・開催	市民の芸術文化振興事業への支援を行う事業 ・文化祭の開催 ・文芸まきのはら発行 ・団体への補助	継続	3,462	
遺跡発掘調査事業	市内遺跡の現地調査及び道路拡幅事業に伴う宮下遺跡発掘調査  地域の歴史文化を守り、ふるさと意識を育て、多世代にわたる地域学習力の向上を図るため、開発行為に伴う発掘調査等を実施する。	市内遺跡の現地調査及び道路拡幅事業に伴う宮下遺跡発掘調査	市内遺跡の現地調査、整理作業の実施(宮下遺跡)	継続	30,000	
指定文化財修復保存事業費 助成事業	文化財所有者、民俗芸能団体へ補助金を交付  郷土の貴重な財産である文化財を継承し、愛護する心を育てるため、指定文化財の所有者に対して、保存修復にかかる費用を補助する。	継続	継続	継続	561	
田沼意次侯顕彰事業	田沼意次侯を題材とした偉人マンガを製作し、市内公共施設への配布や小学生の学習教材として活用する事業  生誕300年を契機として、市の偉人である田沼意次侯に関する歴史や文化に触れ、その優れた政治手腕を再認識することで、市民の見識を高めるとともにその功績を顕彰する。	大河ドラマを誘致するための署名・要望活動や田沼ゆかりの自治体との交流・連携、PRを展開	継続	継続	200	



事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
図書館機能充実事業	システム導入 ・図書館管理システム ・選書・発注システム	継続 (追加) 市民協働読書活動推進業務委託 日本図書館協会負担金	継続	継続	4,673	
充実した図書館サービスを提供するため、読書推進活動事業を実施し、市民協働の図書館づくりを目指す。						
図書館整備事業		改修設計	改修工事	完了	2,200	
榛原文化センターの一部を改修し、図書館基本計画に基づく榛原図書館の機能拡充を図る。						

## 1 方向性

### (1) 儲かる農業の実現に向けた支援

- ・消費者ニーズに沿った売れる農産物の生産を支援し、持続性の高い儲かる農業を実現します。
- ・静岡県や関係機関と連携し、茶と他の作物との複合化などの経営安定のために必要な情報提供や指導を行います。
- ・JAや茶商などの関係者と連携し、茶の輸出に係る生産者の取組を支援します。

### (2) 作業の効率化、省力化の支援

- ・意欲ある担い手が効率的な農業ができるよう基盤整備や土地改良施設の整備などを行い、ほ場環境の向上に努めます。
- ・安定生産と省力化、効率化を図るため、管理耕作機械の導入や施設整備等を支援します。
- ・担い手への農地の集積を図るため、農地の利用調整などの各種支援を行います。

### (3) 販路拡大の支援

- ・多様なイベント等を利用し、国内外に和食文化や牧之原市の魅力と併せて、茶をはじめとする市内農水産物の魅力を情報発信します。

### (4) 水産業の振興

- ・水産業については、引き続き磯焼け対策やヒラメ、マダイの稚魚の放流により、漁獲量の確保を図ります。

### (5) 鳥獣被害への対策

- ・増加するイノシシなどの被害に対応するため、実施体制を強化するとともに、地域と連携して、捕獲、関係者による勉強会、農地への進入防止などの多面的な対応を進めます。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
農地所有適格法人化数	26 件	30 件
年間新規就農者数	4 人	5 件
サガラメなどの繁殖する藻場を復元した面積数	167ha	200ha
農業、漁業の担い手への支援の取組に対する市民満足度	28.7%	44.6%
特産品の消費推進の取組に対する市民満足度	34.8%	46.6%
耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組に対する市民満足度	16.6%	34.4%
茶業安定の取組に対する市民満足度	31.5%	47.1%

※1 令和4年3月における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
農業経営改善資金事業	借入者に対する 利子助成(0件)	継続	継続	継続	0	
農業経営の安定化のため、農業者 に対し、農地の取得、農業機械な どを含めた施設整備や自然災害の ために借り入れた資金の利子を補 給する。						
認定農業者等育成支援事業	認定農業者協 議会に対する補助 金	継続	継続	継続	1,884	
農業経営の充実と安定を図り、市 の農業発展に寄与するため、農業 の活性化を目指し活動している認 定農業者協議会に対して支援を行 う。						
経営継承・発展支援事業	補助金金の交付 (2件)	継続(7件)	継続(5件)	継続(5件)	7,000	
地域農業を担う後継者が先代から 経営を継承し、更なる発展を促進 できるよう、支援する事業で、国 との協調補助を実施する。						
農業次世代人材投資事業	資金の交付 (4件)	継続(3件)	継続(5件)	継続(6件)	4,500	
青年の就農意欲の喚起と就農後の 定着を図るため、経営が不安定な 就農直後(5年以内)の所得を確 保する資金を交付する。						
ビジネス経営体育成支援事業	ビジネス経営体 育成支援のため の情報提供、相 談・指導	継続	継続	継続	0	
農業経営の多角化に伴う6次産業 化、ビジネス経営体の育成支援の ため、加工・流通・販売分野の情 報提供や相談・指導を実施する。						
静岡県食肉センター再編整備 事業	静岡県食肉セン ター再編推進協 議会の基本構想 に基づく再編整 備への補助	継続 (R3へ前倒し)	継続	継続	0	
老朽化が進む県内2か所(小笠、 浜松)の食肉センターを小笠食肉 センターに集約化を図るための整 備を行う。						

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
機構集積協力金交付事業	農地の集積・集約化に対する協力金の交付 (予定なし)	継続 (10ha)	継続 (10ha)	継続 (10ha)	2,200	
担い手への農地の集積・集約化を加速するため、農地中間管理機構を通じた農地の集積・集約化に対する協力金を交付する。						
荒廃農地等利活用推進事業	荒廃農地再生 (1.0ha)	継続 (1.6ha)	継続 (1.6ha)	継続 (1.6ha)	5,000	
食料自給率を向上させるため、荒廃農地の再生・利用を図り、農業生産の基盤である農地の確保や早生樹導入などによる有効活用を推進する。						
中山間地域直接支払事業	集落協定 (7集落)  協定面積 (21.1ha)	継続 (7集落) (21.1ha)	継続 (7集落) (21.1ha)	継続 (7集落) (21.1ha)	1,918	
国土保全、水資源の涵養、良好な景観保全形成など、農業の持つ多面的機能を発揮させるため、農業生産条件が不利な傾斜地における荒廃農地を抑制する。						
人・農地プラン実質化推進事業	人・農地プランの実質化を市内全地区で作成 (11地区)	継続 (追加) 目標地区の作成・周知	継続	継続	0	
アンケートや地区での話し合いを行い、中心経営体への農地の集約化に関する将来の方針を作成する「人・農地プラン実質化」を実施する。						
つくり育てる漁業の推進事業	各種漁業振興協議会への活動負担金(5件)	継続	継続	継続	2,297	
漁業振興により地域産業の活力を向上させるため、マダイやヒラメの放流や磯焼け対策事業(サガラメ、カジメ藻場再生)を関係団体と連携し実施する。						
水産物を活用した産業活性化事業	商品・メニュー等のPR、各事業部会での検討 (予算は静岡市と御前崎市が負担)	継続	継続	継続	0	
静岡市、焼津市、吉田町、牧之原市、御前崎市が連携し、水産物等を活用した新商品、メニュー、観光コースを開発する。また、地域資源のブランド力を高め、中駿河湾の水産業や水産物の加工、流通、小売り、飲食、観光などの産業を活性化する。						

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
水産振興事業	製氷施設整備 (吉田漁港)への補助	海水取水施設整備 (御前崎市)への補助	製氷施設 事業実施 1年延期	製氷施設整備実 施設設計(御前崎 漁港)への補助	3,020	
南駿河湾漁協が国庫補助事業により整備する製氷施設や県事業による漁協施設整備に対し、関係市町と協調補助し、水産業の強化を図る。						
鳥獣被害防止対策事業	猟友会や鳥獣被害防止対策協議会、防護柵設置農家に対する支援	継続	継続	継続	5,372	
牧之原市鳥獣被害防止対策協議会への補助金等を通じ、有害鳥獣駆除で使用する装備品の整備や猟友会の有害鳥獣駆除の活動を支援する。						
茶複合経営推進事業	転作支援補助金 【補助対象面積】 200a	継続(追加) 転作支援補助金 【補助対象面積】 200a	継続(追加) 転作支援補助金 【補助対象面積】 350a	継続	2,000	
茶園からの転作により、「お茶+α」の複合経営を推進するため、土壌改良や種苗など転作経費を助成し、転作に取り組む農業者を支援する。						
多面的機能支払交付金事業	活動組織9組織 勝間上、菅山原、坂部、松本、東萩間、蛭ヶ谷、中、牧之原×2	活動組織13組織 勝間上、菅山原、坂部、松本、東萩間、蛭ヶ谷、中、牧之原×3、勝俣、白井、仁田	活動組織12組織 勝間上、菅山原、坂部、松本、東萩間、蛭ヶ谷、中、牧之原×3、勝俣、大寄	活動組織12組織 勝間上、菅山原、坂部、松本、東萩間、蛭ヶ谷、中、牧之原×3、勝俣、大寄	38,386	
農地、水、環境の保全及び質的向上を図るため、地域ぐるみで行う効果的な共同活動や環境を重視した営農活動への支援を行うとともに、農業施設の改修や更新など施設の長寿命化を支援する。						
(団体営) 農業基盤整備促進事業	勝間田川ファブリダム A=11ha ファブリダム袋体の製作	勝間田川ファブリダム A=11ha ファブリダム本体交換工事	完了		82,000	
安定的な生産と農作業の省力化、効率化を図るため、水田及び茶園の基盤整備事業による農地集積を推進する。						
(県営) 経営体育成基盤整備事業	【坂部地区】 暗渠排水整備 (A=13ha)排水路整備 (L=450m) 【静波原地区】 茶園区画整理工事A=3.2ha 【朝生原】 茶園区画整理工事(A=5ha)	【坂部地区】 暗渠排水整備 (A=13ha) 排水路整備 (L=450m) 【静波原地区】 茶園区画整理換地処分 【朝生原】 茶園区画整理工事(A=5ha)	【坂部地区】 暗渠排水整備 (A=13ha) 排水路整備 (L=450m) 【朝生原】 茶園区画整理工事(A=5ha) 【須々木原地区】 茶園区画整理設計	【朝生原】 茶園区画整理工事(A=5ha) 【須々木原地区】 茶園区画整理工事(A=5ha)	21,414	
県営事業にて老朽化した取水施設の堰改良工事や水田の畑地化を目的とした暗渠排水や排水路の整備、茶園集積を目的とした区画整理工事を実施する。						

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6	
(県営) 農道保全対策事業	対策工事榛南2期変更 舗装補修(L=900m) 法面補修 1箇所	対策工事榛南2期変更 舗装補修(L=776m) 法面補修 1箇所	対策工事榛南2期変更 舗装補修(L=410m)	対策工事榛南2期変更 舗装補修(L=406m) 【事業完了見込】	25,000
広域農道の通行車両の安全を確保するため、老朽化した擁壁や舗装の改良工事を県営事業で実施する。					
(県営) 農業農村整備調査事業	農地中間管理機構関連農地整備事業 「須々木地区」 「大江・海老江地区」 「鹿島・片浜地区」	農地中間管理機構関連農地整備事業 「須々木地区」 経営体育成樹園地再編事業 「鹿島・片浜地区」 「片浜磯田地区」	経営体育成樹園地再編事業 「鹿島・片浜地区」 「片浜・磯田地区」 「真梨地区」	経営体育成樹園地再編事業 「片浜・磯田地区」 「真梨地区」 「榛原畑かん32工区」	4,500
農業農村整備事業の計画を樹立するため、県が実施する農地及び水利等に関する調査を行う。					
(県営) 担い手育成基盤整備事業	拡幅工事(L=320m)	安全施設工 補完工事等	完了		4,451
樹園地の幹線農道の幅員が狭く、農作業の効率が悪いため、農道の拡幅改良工事を県営事業で実施する。					
茶園集積推進事業	【補助対象面積】 1,300a	【補助対象面積】 1,619a	【補助対象面積】 1,500a	継続	6,645
茶園の集積を進め、茶業経営の効率化を図るため、農地中間管理機構を通じて借り受けた茶園の茶樹改良等の経費を補助し、茶園集積に取り組む農業者を支援する。 (県・市協調補助)					
経営体質強化支援事業	乗用型摘採機等機械導入支援(1台) 農業者への情報提供、相談、指導	乗用型摘採機等機械導入支援(1台) 農業者への情報提供、相談、指導 産地生産基盤パワーアップ事業 (計画の採択があった場合に実施)	乗用型摘採機等機械導入支援(3台) 農業者への情報提供、相談、指導 産地生産基盤パワーアップ事業 (計画の採択があった場合に実施)	継続	500
低コスト生産を実現し、共同茶工場等の経営体質強化を図るため、共同管理体制に伴う乗用型管理機の導入支援及び緑茶海外輸出、転作などについて情報提供・相談・指導を実施する。					
荒茶加工施設整備事業	荒茶加工施設整備に対する支援 (事業要望、採択があった場合に実施)	継続	継続	継続	0
市の基幹作物である茶の振興を図るため、茶農家及び茶業関係者に対して、荒茶加工機の整備費を補助する。					
静岡牧之原茶PR推進事業	イベント開催、大規模展示会、関係協議会等への補助金等	継続 全国茶まつり出展	継続	継続	4,995
静岡牧之原茶のブランド化と消費推進を図るため、茶業関係者や茶業振興協議会などの取組を支援する。					

## 1 方向性

### (1) 産業用地の確保

- ・東名高速道路相良牧之原 I C 北側への産業用地の確保を支援します。
- ・企業進出などのニーズに対応するため、交通インフラの利便性が高く、安全安心な操業環境が確保できる場所に産業用地を創出します。
- ・空き施設や遊休地の情報を収集、発信し、企業誘致を進めます。

### (2) 企業誘致の推進

- ・牧之原市の立地環境や産業特性を活かし、成長が見込まれる分野などの企業を誘致することで、経済情勢の変化に強い産業構造をつくとともに、多様な働き場の確保による雇用環境の充実を図ります。
- ・企業立地及び移転に係る優遇制度により、新規の企業誘致と市内企業の流出防止を図ります。

### (3) 雇用の確保

- ・市内企業の情報を市内外に発信し、若者の雇用を支援するとともに、企業が求める人材の確保に努めます。
- ・産業雇用支援ネットワークにより、関係機関間による情報の共有化と積極的な発信を行うことで、市内外の多様な人材との雇用のマッチングを進めます。
- ・雇用情勢の変化や ICT などの科学技術の進歩に対応し、将来の市民の暮らしを支える多種多様な働き方を実現するための環境づくりを進めます。

## 2 数値目標（令和 4 年度）

指 標	基準値※1	目標値
年間新規雇用者数	526 人	850 人
起業支援、産業雇用支援の取組に対する市民満足度	25.1%	45.8%

※1 令和 4 年 3 月における最新の数値

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
戦略的企業誘致推進事業	企業訪問、企業誘致活動の実施	継続	継続	継続	470	
企業等が所有する市内未利用用地・遊休地を有効活用するため、静岡県等と連携して新たな企業誘致を図るとともに、市内企業を含めた企業・経済動向を把握する。						
御前崎港利活用推進事業	ポートセールス、要望活動の実施	継続	継続	継続	3,209	
御前崎市と連携しながら御前崎港の取扱貨物の増加を図り、新たな荷主企業の獲得を図るため、県中西部企業を中心とした積極的なポートセールスを展開する。	開港50周年記念事業の実施					
技術労働育成支援事業	シルバー人材センターへの補助 榛南建築高等職業訓練校への補助	継続	継続	継続	13,055	
高齢者の経験等を活かした就業機会の創出に取り組んでいる団体及び建築技能者の育成と木造建築技術の伝承を行う団体の安定的な運営を図るため、補助金を交付する。						
雇用環境整備支援事業	榛南地区勤労者共済会への補助 榛南地区勤労者福祉協議会への補助	継続	継続	継続	4,714	
勤労者の福利厚生の実施や雇用環境整備を進める団体の安定的な運営を図るため、補助金を交付する。						
住宅建設資金利子補給事業	住宅資金の利子を補給 (新規申請23件)	継続 (新規申請18件)	継続 (新規申請18件)	継続 (新規申請18件)	4,087	
勤労者の住宅建築・取得を促進し、市内への定住人口の増加を図るため、市内に住宅を求める勤労者に対して、住宅資金の利子を補給する。						



事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
企業立地促進事業	工場等を新たに立地する企業への補助	継続	継続	継続	72,600	
地域産業の振興及び就業の場の確保を図るため、市内に工場等を新設する企業等に対し補助金を交付する。						
萩間地区工業用地造成事業	不動産鑑定評価	区域外工事(河川改修)設計業務	区域外工事(河川改修)	完了	23,495	
萩間地区における工業用地の大規模開発に向け、早期実現を目指して事業を推進する。						
雇用就労支援事業	産業雇用支援ネットワーク会議、若者就労支援相談会の開催  おかえりプロジェクト発足	継続 (追加) おかえりプロジェクト交流事業	継続	継続	221	
企業と就職希望者とのマッチングを推進し、雇用環境の充実を図るため、新卒者以外の就職希望者も含め、企業情報の発信やセミナー等を開催する。						

## 1 方向性

### (1) 中小企業の振興

- ・ 中小企業・小規模企業振興基本条例に基づき、中小企業・小規模企業振興計画を策定し、事業者の創業や育成、承継の支援等による事業振興を行います。
- ・ 中小企業者が行う、国内外への販路拡大に係る取組を支援します。

### (2) 関係機関との連携の強化

- ・ 国、県の協力のもと、事業者、市、商工会、金融機関、その他の関係機関が連携し、情報を共有化するとともに、総合的な支援体制の構築し、施策の推進を図ります。

### (3) 商業の振興

- ・ 市内商業の活性化のため、商工会等と連携し、空き店舗の活用、地域密着型事業などを支援します。
- ・ 市民生活の変化や市民ニーズの多様化に対応するため、事業者の創意工夫による取組や魅力ある店舗づくりを支援します。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
市の産業は活力があると思う人の割合	12.4%	31.3%
年間起業数	32 件	45 件
年間商品販売額（小売）	554 億円	560 億円
商工業の振興の取組に対する市民満足度	28.7%	38.5%
商店街の魅力向上の取組に対する市民満足度	22.2%	62.8%

※1 令和4年3月における最新の数値

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
商工業振興資金利子補給事業	設備投資に対する利子補給(100件)	継続	継続	継続	2,400
商工業者の健全な経営を支援するため、事業資金を借り受けた中小企業者に対して利子の一部を補助する。					
商工会支援事業	商工業者へ指導、支援(商工会への補助)	継続	継続	継続	28,500
商工業の振興と健全な経営を図るため、商工業者への指導や支援を行う商工会を支援する。					
地域産業活性化事業	産業フェアの実施	継続	継続	継続	1,350
市内で製造されている工業製品、農産物等を広く紹介し、商工業の振興を図るとともに、市民融和を深めるため、産業フェアを開催する。					
事業資金支援事業	短期経営改善資金、小口資金の利子・保証料の補給	継続	継続	継続	742
中小企業の資金調達を円滑にし、経営の安定と合理化を図るため、制度資金等を借り受けた中小企業者に対して利子や信用保証料を補給する。					
ふるさと納税推進事業	ふるさと納税推進記念品の贈呈	継続 (寄付額4億)	継続 (寄付額4.5億)	継続 (寄付額5億)	216,910
ふるさと納税の推進と市内産業の活性化を目的に、10,000円以上のふるさと納税(寄附)をした方に、地元特産品等を記念品として進呈。	記念品の発掘 (寄付額3.5億)				
がんばる中小企業応援事業	中小企業・小規模企業及び起業、創業希望者に対する相談業務実施(96件)	継続	継続	継続	1,734
中小企業者等の経営課題等に対し、解決までの筋道を提示できる牧之原市ビジネスサポートデスク(まきサポ)を設置し、経営改善、創業などの相談を受ける。併せてセミナー等を開催し、中小企業等の振興を図る。					
商工業振興支援事業	商品開発、販路開拓等への補助(4件)	商品開発、販路開拓等への補助(2件)	継続 (追加)	継続	32,000
中小企業の成長支援のための経費や新たな事業を創出する市内起業家、市内商業団体等が実施する市内イベント開催などの事業に対して支援を行う。 また、静波沿岸部に市の計画に沿った店舗等を誘致するため、一定の条件を満たし、店舗を新設した事業者へ補助を行う。	市内イベント事業等への補助(2件) 市内起業家に対する補助(5件)	市内イベント事業等への補助(5件) 市内起業家に対する補助(7件)	沿岸部の活性化に対する補助(30,000㎡)		

## 1 方向性

### (1) 観光地づくり

- ・魅力ある着地型の観光地づくりを進めます。
- ・市民、関係する事業者や団体の連携体制を強化し、一体的に取り組みます。
- ・地域連携DMO公益財団法人するが企画観光局と連携し、広域での観光を進めます。
- ・富士山静岡空港、御前崎港、高速バス相良渋谷線などを利用し、海外や首都圏からの観光客を誘致します。

### (2) 多様な海岸利用の促進

- ・静波海岸、さがらサンビーチの海水浴場を運営します。
- ・マリンスポーツやマリンレジャーなど多様な形態による海岸利用を進め、年間を通じた海岸の利用促進を図ります。
- ・沿岸部の活性化に民間事業者と一体となって取り組みます。

### (3) 東京五輪を契機とした交流人口の増加

- ・2020年東京五輪サーフィン競技のアメリカ、中国のホストタウン登録を契機に国内外からの交流人口の増加を図ります。
- ・インバウンドの受け入れに必要な施設の整備などを行います。

### (4) 歴史文化を活用した観光

- ・市内の歴史文化資源を活用した観光を進めます。
- ・田沼意次侯生誕300年を契機に、田沼意次侯に対する市民の誇りを醸成するとともに、関連する歴史文化資源を活用した観光商品や魅力づくりに市民総がかりで取り組みます。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
全国規模のマリンスポーツイベント数	0件	5件
観光誘客促進のための取組に対する市民満足度	24.9%	42.7%
各種イベントの開催に対する市民満足度	31.8%	50.3%

※1 令和4年3月における最新の数値

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
観光振興事業	観光ルートの開発 関係団体のネットワーク維持 フィルムコミッション活動	継続	継続	継続	15,550
市内観光施設を適正かつ良好に維持管理するとともに、空港周辺市町をはじめとする広域的な観光誘客を促進、またフィルムコミッションによる市の魅力発信も行う。 (R2より観光拠点ネットワーク事業費・観光PR事業と統合)					
観光イベント支援事業	ゴーセンカップ 牧之原市国際女子オープン フェスティバル開催 沿岸部活性化事業	継続	継続	継続	700
観光振興や誘客促進を図るため、観光事業を行う団体を支援する。					
子生れの郷周辺整備事業	子生れ石周辺整備の検討	継続	継続	継続	0
富士山静岡空港や子生れ温泉にも近い観光施設を適正かつ良好に維持管理し、周辺整備を行うことにより、観光誘客を促進する。					
御前崎客船誘致協議会事業	クルーズ船誘致に伴うイベント・調査研究・迎入れの準備	継続	継続	継続	6,000
御前崎港利活用促進のため、国内外のクルーズ船の誘致を積極的に実施する。					
海水浴場開設・海岸整備事業	静波海水浴場、さがらサンビーチの海水浴場の運営	継続	継続	継続	53,559
海水浴客が安全安心に快適な時間を過ごすことができる環境を整えるため、海水浴場、駐車場の適正な管理・運営を行う。					

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
観光誘客推進事業	RIDE ON MAKINOHARA誘客 キャンペーン第3弾	RIDE ON MAKINOHARA誘客 キャンペーン第4弾	未定	未定	16,892	
牧之原市へ観光客の誘客を促進する。特に宿泊を伴う観光客の交流客数の増加を図る。						
マリンレジャー推進事業	イベント開催支援 (中日本ライフ セイビング大会 、サーフカーニ バル、ビーチク リーンカップ、 静岡サーフィン 選手権、サーフ スタジアムプロ サーフィン大 会)	継続 (ビーチクリー ンカップ、サー フカーニバル・ 静岡サーフィン 選手権・サーフ スタジアム国際 ジュニアサー フィン大会)	継続	継続	1,700	
年間を通じた海岸の有効活用及び観光振興を図るため、全国レベルのマリンスポーツ大会やイベント事業の運営を支援する。						
まきのはら活性化センター 事業	まきのはら活 性化センター運 営負担金 (花火大会×2・ 初日の出祈願祭 等)	まきのはら活 性化センター運 営負担金 (草競馬大会・花 火大会×2・初日 の出祈願祭等)	継続	継続	34,551	
牧之原市内の観光イベントの企画運営・観光商品開発・地場産品の開発と販売促進等商工振興事業による市内経済活性化を図る。	観光まちづくり 推進業務委託					
温泉会館大規模改修事業	館内LED化 軒天等改修 区画線改修	館内LED化	館内LED化 給湯機改修	源泉ポンプ購入 給湯機改修	12,164	
さがら子生れ温泉会館の施設及び設備の老朽化が進んできているため、大規模改修を実施し施設の長寿命化を図る。						

## 1 方向性

### (1) インフラの計画的な維持修繕

- ・ 橋りょう、トンネル、舗装等の維持修繕は、財源確保と総コストを考慮した計画的な実施に努めます。
- ・ 損傷が軽微な段階で補修を行う予防保全型の維持管理を行い、施設の延命化と維持管理及び更新費用の縮減、事業費の平準化を図り、道路ネットワークの安全性を確保します。

### (2) 道路の整備

- ・ 道路整備プログラムを必要に応じて見直し、計画的な整備を進めます。

### (3) 河川の環境保全と浸水対策の実施

- ・ 適切な維持管理を行うとともに、地域の実情に沿って、計画的に事業を推進します。
- ・ 総合的な治水対策が必要な細江地区については、計画的に治水対策事業を進めます。

### (4) 国、県との連携

- ・ 国や県の所管事業は、事業の早期実現と適切な施設管理を要望していきます。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
整備中路線の完了率	48.5%	81.2%
浸水被害改善率	7.9%	67.2%
道路や河川の補修・整備に対する市民満足度	42.4%	52.2%

※1 令和3年3月における最新の数値

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
道路ストック補修支援事業	維持修繕の実施	継続	継続	継続	2,430
道路施設の長寿命化を推進するため、事後保全から予防保全に転換し、道路ストック総点検結果に基づき、市道の橋梁やトンネルなど小規模な損傷の施設の調査・補修を実施する。					
(防災・安全) 道路ストック補修支援事業	計画に基づく維持修繕の実施	継続	継続	新規計画に基づく維持修繕の実施	131,000
道路交通の安全性を確保するとともに、道路施設の長寿命化を推進するため、事後保全から予防保全に転換し、道路ストック総点検結果に基づき、市道の舗装や法面など特に傷みの程度が高い施設の補修を計画的に実施する。					
(防災・安全) 道路構造物点検・安全事業	計画に基づく維持修繕の実施	継続	新規計画に基づく維持修繕の実施	継続	0
通学路交通安全プログラムに基づく”ふじのくに”の安全・安心なみちづくりにて、交通事故のない安全で安心した豊かな生活を送れる社会の実現を図る。					
県単独事業負担金 (県道整備)	都市計画道路静波1号幹線工事に係る負担金	継続	継続	継続	11,280
地域間を結ぶ主要道路(県道)網の整備のため、県による道路新設及び歩道設置の改良工事を実施する。					
県営港湾整備事業負担金 【新規】		相良港改修事業(中導流堤整備)	御前崎港施設改良(浮消波整備) 相良港改修事業(中導流堤整備)	継続	5,250
沿岸部の防災対策や環境整備のため、県による海岸施設の整備及び港湾施設の改良工事対して応分の負担を行う。					
市道八ツ枝毛ヶ谷線改良事業	道路改良(L=150m) 物件補償	道路改良(L=184m) 物件補償	道路改良(L=152m) 物件補償	完了	76,640
静岡空港と隣接した地域の調和ある発展を図っていくとともに、生活交通の利便性向上と安全を確保するため、市道八ツ枝毛ヶ谷線の拡幅改良を実施する。					



事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
市道坂部細江線改良事業	用地補償	道路改良 (L=480m) 物件補償	道路台帳修正	完了	157,500
静岡空港と隣接した地域の調和ある発展を図っていくとともに、生活交通の利便性向上と安全を確保するための市道坂部細江線の歩道設置改良を実施する。					
市道並木外之久保線改良事業	道路改良 (L=922m) 物件補償		道路改良 (L=477m) 物件補償	道路台帳修正	0
静岡空港と隣接した地域の調和ある発展を図っていくとともに、生活交通の利便性向上と安全を確保するため、市道並木外之久保線の拡幅改良を実施する。					
(市単独) 市道新設改良事業	大江東中線 新柳田橋(土質調査)	須々木大溝線 道路概略設計 坂部道の駅 基本設計 用地測量	大倉三栗線 用地調査 静波91号線 用地調査	継続	9,650
道路整備プログラム(2018)に計画された前期事業(2022/5カ年)について、事業を推進する。	坂部1号線 用地補償 坂部26号線 用地補償				
市道大江東中線改良事業【新規】	土質調査(柳田橋)	道路詳細設計 交差点詳細設計 用地物件調査 土質調査	用地補償	道路改良 (L=200m) 用地補償	63,000
地域住民及び周辺企業の生活交通利便性向上のため道路改良を行い、国道473号バイパス菅山ICへのアクセスを強化する。					
市道中央幹線改良事業【新規】		道路詳細設計 用地物件調査 土質調査	用地補償	右岸仮設道路 (L=250m) 用地補償	48,000
地域住民の生活交通利便性向上のため道路改良を行い、市内の交通の円滑化や災害時の避難路として活用する。					
浸水対策事業	朝生地区放水路 改修 (L=20m)	朝生地区放水路 改修 水道移設等	完了		11,000
市内における道路冠水や宅地の浸水被害を軽減させるため、早期の事業効果が期待できる整備手法の調査検討及び工事を実施する。					

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
準用河川辻川改修事業	河川改修(L=80m)	河川改修(L=33m)	完了		22,000
静岡空港と隣接した地域の調和ある発展を図っていくとともに、道路冠水や宅地の浸水被害を防ぐため、準用河川辻川の河川改修を実施する。					
準用河川沢垂川改修事業	沢垂川河川改修(L=65m) 電柱補償 地盤変動等々	沢垂川河川改修(L=25m)	用地補償	樋門設置工事	49,000
市内における道路冠水や宅地の浸水被害を軽減させるため、早期の事業効果が期待できる整備手法の調査検討及び工事を実施する。					
海岸防潮堤整備に伴う排水対策事業			甚太郎川改修(L=130m)	西藤川改修(L=76m)	0
県が進める南海トラフ地震対策の海岸防潮堤整備に合わせて防潮堤背後地の排水対策を行うため河川改修を実施する。					
相良牧之原IC北側地域整備事業【新規】		東萩間1号線用地補償 東萩間5号線用地補償 東萩間8号線道路改良(L=50m)	東萩間1号線道路改良(L=50m) 東萩間5号線道路改良(L=50m)	完了	179,151
相良牧之原IC北側土地区画整理事業に伴う施行地区隣接部の市道整備を行う。					
相良牧之原IC北側地域の排水路等整備事業		東萩間1号線流末排水路改修(L=175m)	東萩間1号線流末排水路改修(L=175m)	布引原18号線排水路測量(L=300m)	50,000
相良牧之原IC北側地域の土地利用の促進と旧大井航空隊暗渠水路の廃止を目的として、代替機能となる排水路を整備するため、下流河川の改修を実施する。					
道路メンテナンス事業	計画に基づく維持修繕の実施	継続	継続	継続	88,335
道路交通の安全性を確保するとともに、道路施設の長寿命化を推進するため、事後保全から予防保全に転換し、道路ストック総点検結果に基づき、市道の橋梁やトンネルなど特に傷みの程度が高い施設の補修を計画的に実施する。					

## 1 方向性

### (1) 水道事業の広域連携の推進

- ・ 給水人口や給水収入の将来の見通しを基に、静岡県などからの購入水量や購入料金の見直しについての協議を行います。
- ・ 関連する水道事業者との事務の共同発注など、広域連携を進め、経営の効率化、健全化に取り組みます。

### (2) 配水管の改修更新の実施

- ・ 施設整備は、経営戦略、水道事業ビジョン、水道施設の更新計画を策定し、計画的かつ継続的に配水管の耐震化や改修更新を進めます。

### (3) 安定した水道事業の運営

- ・ 水道事業のコストダウン、供給先や事業収入の確保に努め、安定した水道の供給を図ります。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
配水管の耐震化率	20.3%	22.0%
上水道施設整備の取組に対する市民満足度	52.5%	61.0%

※1 令和3年3月31日時点における最新の数値

3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
老朽配水管等更新事業	鉄管更新 (4路線)	鉄管更新 (5路線)	鉄管更新 (9路線)	鉄管更新 (9路線)	182,541
配水管の耐震化推進のため、老朽管等の配水管布設替工事を実施する。	V P管更新 (4路線)	V P管更新 (2路線)	V P管更新 (5路線)	V P管更新 (5路線)	
施設更新事業	4施設	4施設	4施設	4施設	24,000
実使用年数に基づき、老朽化した施設から順次更新する。					

## 1 方向性

### (1) 都市計画の推進

- ・効率的な公共投資と施設の立地誘導を計画的に進めます。
- ・東名高速道路相良牧之原 I C 周辺の用途地域の指定などに取り組みます。
- ・自然環境の保全と美しい街並みの形成のため、景観計画を策定します。
- ・市全体の土地利用の適正化と合わせて若者が住みたいと思える宅地の確保を進めます。

### (2) 公園の機能充実とあり方の見直し

- ・親子がゆっくり楽しめる公園づくりを進めます。
- ・計画的に施設の改修、長寿命化、ユニバーサルデザインを進めます。
- ・市民や地域が主体的に運営管理に関わることができる公園づくりを進めていきます。
- ・市全体における公園のあり方を見直し、適正配置を計画的に進めます。

### (3) 花と緑あふれるまちづくりの推進

- ・癒しや安らぎにあふれ、交流の場となる空間を生み出すため、市民総参加で花と緑のまちづくりを進めます。

## 2 数値目標（令和 4 年度）

指 標	基準値※1	目標値
公園管理に協力してくれる公園愛護団体数	32 団体	30 団体
計画的土地利用の推進に対する満足度	32.8%	30%
計画的な土地利用の推進に対する市民満足度	32.8%	47.6%
街並みや周辺の景観・美観への取組に対する市民満足度	37.7%	50.0%

※1 令和 3 年 3 月における最新の数値

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
都市計画道路中央幹線都決 変更事業	庁内検討	県協議 市民説明 都市計画審議会の開催 都市計画決定図書作成等 都市計画図面修正	庁内検討	継続	3,966	
後川橋の架け替えに伴い、都市計画道路中央幹線の路線変更を行う。						
立地適正化計画策定事業	協議検討	継続	継続	継続	0	
効率的な公共投資を行うためにコンパクトなまちづくりとして、居住機能、交通、医療、福祉施設、商業施設や公共施設等の立地誘導を図る立地適正化計画を策定する。						
景観計画策定事業		庁内検討会議 景観まちづくり会議	継続 基礎資料作成	継続 景観計画案の策定 地区説明	0	
景観まちづくりの基本理念、目標及び景観形成方針を設定する。						
花と緑のまち推進事業	公共花壇管理団体へ原材料等の支給 緑化講習会の開催 花の会主催花育講座（育種寺子屋）	継続	継続	継続	3,026	
地域の環境美化やゆとりの空間を創造するため、花づくり教室、講習会等の開催を通じて緑化意識を高め、花いっぱいのでまちづくりを推進する。						
公園整備事業		公園遊具整備調査・計画業務委託 油田の里公園資料館屋根まわり改修実施設計業務委託 ふるさと体験の森多目的広場給水工事	小堤山公園遊具設置、園路改修工事 油田の里公園資料館屋根まわり改修工事	小堤山公園園路改修工事 ゆうゆうらんど遊具設置工事	9,500	
市内の公園において施設改修工事を行うことにより公園環境の整備促進を図る。						

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
東名相良牧之原IC北側 開発事業	土地区画整理準備組合支援 土地区画整理事業助成金 土地区画整理事業関係調査委託	土地区画整理準備組合及び組合支援  土地区画整理事業助成金	土地区画整理組合支援 土地区画整理事業助成金 道路改良工事に係る測量・設計・補償調査委託 道路拡幅に係る用地取得費、物件補償費	土地区画整理組合支援 公園整備に係る設計委託 道路拡幅に係る工事	201,407
相良牧之原IC北側の複合的な用途による開発を行うため、土地区画整理組合を支援し、土地区画整理事業を通じた新たな拠点、賑わいの場の創出を図る。					
都市計画用途地域指定事業 (高台開発関連事業)		用途地域変更、都市計画決定図書作成 地区計画検討資料作成	完了		0
東名相良牧之原IC北側の開発において予定されている土地区画整理事業において、用途地域の指定が必要となることから、用途地域指定に関する協議資料等の作成に関する事業を行う。					

## 1 方向性

### (1) 総合的、計画的な推進

- ・地球温暖化防止、循環型社会、自然共生社会や地域循環共生圏の構築に総合的、計画的に取り組めます。

### (2) 廃棄物の処理

- ・低炭素社会に向けた廃棄物処理システムの構築や資源循環利用促進のため、ごみの減量・資源化を図るとともに、自然共生社会に向け、環境マネジメントによる環境負荷の軽減と保全意識の向上を図ります。
- ・合併処理浄化槽の普及を促進します。
- ・廃棄物の不法投棄や悪臭の発生に対応するため、必要な規制の強化などを検討します。

### (3) 広域での施設の運営

- ・関係市町と協議のうえ、ごみ処理施設、し尿処理施設及び火葬場の長期的な視点による更新、統廃合、長寿命化の計画を策定し、安全安心で効率的な施設運営を実現します。

### (4) 再生可能エネルギーの導入促進

- ・再生可能エネルギーの導入促進などは、地域の理解を得たうえで、太陽光、太陽熱、風力、バイオマス資源等の利用を進め、二酸化炭素の削減、エネルギーの地産地消の仕組づくりを行います。

### (5) 生態系の維持、水産資源の保持

- ・生態系の維持や水産資源の保持について、対策を進めるための協議会の設置などを検討し、必要な対策を実施していきます。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
合併浄化槽の普及率	50.1%	48.6%
新エネルギーの導入率	134.3%	120%
エコアクション21認証（ISO14001）取得事業所数	57事業所	62事業所
生活環境対策などへの取組に対する市民満足度	54.4%	64.3%
公害防止対策への取組に対する市民満足度	52.0%	63.6%
風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取組に対する市民満足度	46.5%	59.4%
自然環境の保全への取組に対する市民満足度	41.1%	55.1%

※1 令和4年3月における最新の数値



### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
環境基本計画推進事業	環境審議会の開催	継続	継続	継続	7,412
廃棄物処理、循環型社会の形成、地球温暖化防止対策等、市が実施する環境施策を計画的、効率的に推進するため、生活環境及び自然環境を保全、創造する環境基本計画を運用するとともに、見直し等を実施する。	環境基本計画等各種計画一体策定				
環境マネジメント促進事業	環境教室、環境学習、環境フェアの開催	継続	継続	継続	479
家庭から排出される二酸化炭素の削減など、地球温暖化防止活動の普及啓発のため、環境教室や環境学習を開催する。	※新型コロナウイルス感染拡大防止で環境フェアの実施を取止めた為				
資源・エネルギー利活用推進事業	太陽熱温水器導入補助金等	継続 (追加) 家庭用創エネ・省エネ・蓄エネ設備設置費補助金の創設	継続	継続	5,281
地球温暖化防止対策の観点から、エネルギーの地産地消により、地域産業の活性化、雇用の創出を図るため、太陽光・風力・バイオマス発電などの再生可能エネルギーの導入促進や活用を検討する。					
エコアクション21推進事業	市役所のエコアクション21の取組推進 中間審査 取得事業者支援、 普及啓発 ※新型コロナウイルス感染拡大防止で規模を縮小した為	継続	継続	継続	415
企業、学校、公共機関等の全ての事業者が環境への取り組みを効果的、効率的に行うため、環境への目標を持って行動し、評価する環境経営システムである「エコアクション21」を市役所が率先して推進するとともに、市内の事業所への普及、支援を実施する。					
資源集団回収奨励事業	古紙等資源集団回収実施団体が回収した古紙等資源の1kgにつき2円の奨励金を交付	継続	継続	継続	950
資源集団回収の奨励による、ごみの減量及び各種リサイクル活動を推進する。					

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
環境美化推進事業	ごみ集積施設設置事業は、事業経費の1/2以内で5万円を限度とし、予算の範囲内で交付	継続	継続	継続	459
生活環境の保全に資するため、市内一斉清掃における防疫剤の配布及びごみ集積施設設置に対して支援を行う。	地域一斉清掃（5月末）等で使用する防疫剤を配布				
不法投棄防止対策事業	大江地内廃冷蔵庫断熱材の現地監視、不法投棄常習地への防止対策等	不法投棄常習地への防止対策等	継続	継続	2,031
ごみの不法投棄防止のための資材配布とパトロール実施により生活環境衛生を維持する。					
ごみ処理施設検討事業	県ごみ処理施設広域化・集約化計画の策定（関係市町と連携し、広域化の枠組み、範囲等の協議及び検討）R2年度～R3年度	県ほか関係市町と協議	継続	継続	0
広域施設組合のごみ焼却施設は、耐用年数を大幅に過ぎていることから、新施設建設等のため、廃棄物処理施設整備を検討する。					
合併処理浄化槽設置費助成事業	宅内配管工事費及び単独槽撤去費への補助を行う要綱改正を実施	継続	継続	継続	60,565
循環型社会形成推進基本法に基づく地域計画の推進と、生活排水による公共河川等の水質汚濁を防ぎ、水質保全を図るため、合併浄化槽の普及を促進する。	浄化槽設置補助金の交付（170基）				
環境保全調査事業	環境調査自動車騒音常時監視 悪臭・水質・騒音等調査、河川生息動物実態調査	継続	継続	継続	4,641
地域の環境を守り、いち早く水質悪化に対応するため、定期的に河川や地下水、事業所等などの水質調査を実施。公害苦情への対応及び環境施策の基本資料とするため、各種環境調査を実施する。					
火葬場検討事業	基本構想 基本計画着手 候補地の調査、評価 候補地の決定	基本計画の策定 都市計画決定法定手続 用地測量 不動産鑑定 環境アセス 用地買収	用地買収 都市計画決定 造成計画設計 建築基本計画 設計者選定 火葬炉メーカー選定	設計協議 建築基本設計 建築実施設計	14,212
広域施設組合の火葬場は、耐用年数を経過していることから、地域や関係市町と協議の上、新施設整備の検討を進める。					

## 1 方向性

### (1) 地域交通網の充実

- ・都市計画マスタープランに基づいた都市拠点を結ぶ地域公共交通のネットワークや交通空白地域を面的にカバーするような交通網を構築し、効果的なサービスの提供による利用促進を図り、市民ニーズに合った公共交通を確保していきます。
- ・鉄道駅や隣接市街地へのアクセス機能を持つバス路線は、市民や市外からの来訪者にとって重要な移動手段であるため、関係市町や交通事業者と連携し、利便性の向上を図り、路線の維持に努めていきます。
- ・高齢者の移動手段の確保としては、運行を開始しているデマンド乗合タクシーの状況を把握し、利用しやすい環境を整え、他地域への導入を推進します。導入にあたっては、既存のバス路線を活かしつつ、タクシー事業者への影響を十分考慮し、公共交通全体として最適な形を検討します。

### (2) 富士山静岡空港の利活用

- ・富士山静岡空港については、ターミナルビルの増改築や民営化に伴う空港活性化や利便性の向上が地域の活性化に結びつくよう運営権者や地域と連携しながら取り組みます。
- ・新幹線新駅については、県や関係市町と連携して設置の実現を目指します。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
自主運行バス利用者数	13.7万人	17.3万人
空港を活用するための取組に対する市民満足度	35.1%	51.7%
公共交通の充実（バス交通など）の取組に対する市民満足度	22.9%	41.4%

※1 令和3年3月31日時点における最新の数値

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
交通政策推進事業	公共交通会議3回 評価改善部会2回	継続	継続	継続	383
牧之原市地域公共交通網形成計画の推進や市内の公共交通に関し協議するための地域公共交通会議を開催する。					
路線バス運営事業	自主運行バス4路線運行(ジャスト)	継続	継続	継続	184,608
市民の移動の足の確保、市外との公共交通を維持するために、事業者路線バス、自主運行バスを運行する。	市営バス「鬼女菅山線」の運行 路線バスへの欠損補助				
デマンド乗合タクシー運営事業	本運行3地区(坂部、勝間田、牧之原)	本運行4地区(坂部、勝間田、菅山・萩間、牧之原)	本運行6地区(坂部、勝間田、菅山・萩間、地頭方、牧之原)	本運行8地区(坂部、勝間田、菅山・萩間、地頭方、牧之原、相良、榛原)	5,300
高齢者等の交通弱者の移動手段を確保するために、デマンド乗合タクシー等を運行する。	試験運行2地区(菅山・萩間、地頭方)	試験運行3地区(地頭方、相良、榛原)	試験運行2地区(相良、榛原)		
空港利用推進事業	各種団体への負担金(5団体) イベントバスの借上げ	各種団体への負担金(5団体) イベントバスの借上げ	継続	継続	1,536
富士山静岡空港の利活用の促進や新幹線新駅の設置に向け、各種団体へ参加する。	赤坂池周辺整備 基本構想				

## 1 方向性

### (1) 空き家対策の実施

- ・地域住民の生活環境に影響を及ぼす特定空き家については、所有者に適正管理を依頼、助言、指導し、保安対策を進めていきます。

### (2) 空き家、空き地の有効活用

- ・空き家空き地バンクを活用した情報提供を行い、遊休化する住宅や土地の有効活用を支援します。

### (3) 市営住宅の利用促進

- ・老朽化等により耐震能力に欠ける住宅は、入居者の調整を図り、施設の取り壊し等を進めていきます。
- ・耐震能力のある住宅は、入居要件を緩和し、幅広い世代層の利用を図ります。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
住宅地の整備や住宅に関する情報の発信に対する市民満足度	32.2%	49.5%

※1 令和3年3月における最新の数値

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
特定空家対策推進事業	協議会の開催 (1回) 特定空家等除却 支援補助(1 棟)	継続	継続	継続	890
地域の防災・環境面において、良好な環境を形成するため、荒廃した空家に対して必要な措置を講ずるなどの対策を推進する。					
空き家・空き地利活用推進事業	空き家・空き地 バンクの運用 空き家活用リフォーム 等補助(1棟)	継続	継続	継続	350
市内の空き家・空き地を有効活用するために、市内の空き家・空き地を市のバンクへ登録し、市のHPなどを通し活用を希望する方へ情報を提供する。					
住生活基本計画事業 【新規】	関係部署のヒア リング	計画骨子(案) の作成	住生活基本計画 策定 計画冊子作成	完了	0
当市の特性に応じたきめ細かな施策を展開するため、住宅政策全般を対象とした基本的な計画を策定する。					
公営住宅等ストック総合 改善事業	波津西住宅1～ 4号棟・9～11 号棟解体工事实 施設計業務委託 波津西住宅1～ 4号棟・9～11 号棟解体工事	湊団地補修工事 設計業務委託 湊団地配水管等 取替修繕	湊団地補修工事 山の手団地2～ 4・7・8号棟 解体工事实施設 計業務委託 牧之原団地補修 工事設計業務委 託 牧之原団地排水 管等補修工事	山の手団地2～ 4・7・8号棟 解体工事 牧之原団地補修 工事 牧之原団地排水 管等補修工事 ハイツ地頭方団 地補修設計業務 委託	15,405
市営住宅ストックの長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図るため、計画的な施設の更新及び予防保全的管理を実施する。					

## 1 方向性

### (1) 自助、共助の体制の強化

- ・「防災は一人一人が主人公」との認識のもと、一人一人が自らの生命を守るための備えに必要な情報を発信するとともに、地域が共に助け合う体制を強化し、底上げするため、防災指導員の育成を図ります。

### (2) 地震、津波災害への対策

- ・市民の避難訓練や防災訓練への参加促進、住宅の耐震化の支援、防災倉庫などの整備を支援するなど、地震津波への対応を計画的に進めます。

### (3) 防潮堤などの整備

- ・国や県と連携して海岸 15 k m のレベル 1 防潮堤整備を進めるとともに、レベル 2 の津波に対応した施設の整備を検討します。
- ・二級河川坂口谷川の水門整備の早期完成を国に要望します。

### (4) 風水害への対策

- ・災害が深刻化する前に避難勧告等を発令できるよう、情報伝達体制を強化します。

### (5) 原子力防災対策

- ・浜岡原子力発電所は、現在、国の指導により停止していますが、あらゆる原子力災害の想定に対し市民の安全性を高めるため、広域避難計画の策定、放射線防護対策施設の整備、避難路の整備などに取り組みます。
- ・広域避難計画は、今ある方針書を基に関係市町との協議を進め、実効性ある計画としての策定を進めます。
- ・原子力防災に関する正しい理解を促すため、市民に対する学習会などを開催します。

### (6) 他市町や企業との連携

- ・県内外の市町村や企業等と災害協定を締結し、有事に備えた支援体制を構築します。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
アクションプログラム 2013 に掲載した個別アクションの数値目標達成率	50.0%	80.0%
震災・火災・水害・浸水対策への取組に対する市民満足度	42.5%	55.0%
自主防災組織の強化のための取組に対する市民満足度	47.3%	60.6%
家具等の転倒防止などの防災対策への取組に対する市民満足度	38.2%	54.7%

※1 令和4年3月における最新の数値

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
災害時救護所整備事業	医薬品等 (EM-5 隔年更新)	医薬品等 (人工 蘇生器点検)	医薬品等 (EM-5 隔年更新)	医薬品等 (人工 蘇生器点検)	169	
一次救護所 (ぐりんぱる、相良総合グラウンド) の機能向上のため、医薬品・医療機器等を整備する。						
保安林保全事業	松くい虫対策 防除面積 (11.90ha) 保安林管理委託 (4団体)	松くい虫対策 防除面積 (11.90ha) 保安林管理委託 (3団体)	継続	継続	9,443	
海岸の良好な景観の承継と防災対策を図るため、病害虫の防除や保安林の適正な管理を実施する。						
海岸防潮堤(レベル2)整備事業			細江地区整備工 事(L=300m)	細江地区整備工 事(L=300m)	0	
津波被害から市民のいのちを守るため、国が整備をするレベル1防潮堤の背後にL2津波に対応できる防潮堤を整備する。						
プロジェクト「TOUKAI-0」推進事業	専門家診断(10 件) 専門家派遣(25 件) 補強計画・工事 一体型(10件) 緊急輸送ルート沿 補強計画(2件) 緊急輸送ルート沿 補強工事(1件) ブロック塀等撤去 (安全な通学路 等)(20件) ブロック塀等撤去 (従来型)(1 件) ブロック塀等改善 (安全な通学路 等)(2件) 生垣づくり(2 件)	専門家診断(10 件) 専門家派遣(25 件) 補強計画・工事 一体型(12件) 緊急輸送ルート沿 補強計画(2件) 緊急輸送ルート沿 補強工事(1件) ブロック塀等撤去 (安全な通学路 等)(20件) ブロック塀等撤去 (従来型)(1 件) ブロック塀等改善 (安全な通学路 等)(4件) 生垣づくり(2 件) 瓦屋根耐風診断 (3件) 瓦屋根耐風改修 (3件)	継続	継続	17,755	
東海地震等に備え、市民の生命財産を守るため、市民自らが取り組む住宅の耐震化等を支援する。						



事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
農村地域防災減災事業	団体営ため池耐震工事(1池) 県営ため池耐震工事(6池) 団体営ため池土質・耐震調査(7池)	団体営ため池耐震工事(1池) 県営ため池耐震工事(6池) 団体営ため池土質・耐震調査(3池)	県営ため池耐震工事設計(7池) 団体営ため池耐震工事設計(2池)	県営ため池耐震工事(7池) 団体営ため池耐震工事(2池)	60,400
今後予想される大規模地震に備えるため、被災による影響の大きい農業用ため池の耐震性点検調査を実施する。 耐震性が無い農業用ため池の耐震工事を実施する。					
地頭方漁港海岸保全施設整備事業	嵩上改良工事(L=30m)	嵩上改良工事(L=15m)	嵩上改良工事(L=30m)	嵩上改良工事(L=48m)	43,800
地頭方漁港海岸の防潮堤背後地において、発生の確率が高いレベル1津波から生命・財産等を守るため、護岸・胸壁・陸閘の海岸保全施設の整備を実施する。					
地頭方漁港津波高潮防災ステーション更新事業	更新工事	更新工事	更新工事	完了	79,157
老朽化した津波高潮防災ステーションの機能を向上させ、背後地域の住民の安全を確保し、市民の人命・財産の安全性の向上を図る。					
土地改良施設維持管理適正化事業(榛原第1排水機場)	事業の拠出金支出	1号除塵機加入と改修事業実施 過年度事業の拠出金支出	2号除塵機加入 事業の拠出金支出	除塵機制御盤加入 事業の拠出金支出	47,052
榛原第1排水機場は昭和47年度に県営事業で造成されてから40年以上経過している。施設全体の老朽化が著しいため、土地改良施設維持管理適正化事業により施設の延命化を図る。					
茶海外輸出等支援事業		補助：10事業所	継続	継続	500
残留農薬検査など補助要件に該当する茶業関係者が実施する活動に補助金を交付する。					

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
オーガニックまきのはら 推進事業		支援業務委託	継続	継続	500	
低炭素社会の実現のため、耕作放棄地においてCO2削減を目的とする実証実験に対する支援を行う。						
地域防災対策強化事業	防災資機材、備蓄食糧等の購入、防災対策への補助金事業の実施	防災資機材、備蓄食糧等の購入、防災対策への補助金事業の実施（寄り避難地整備） 防災コミュニティセンター補助金（須々木区）の実施	防災資機材、備蓄食糧等の購入、防災対策への補助金事業の実施	継続	44,697	
各種災害対策等を推進することにより、災害発生時における被害の軽減を図り、減災へつなげる。また、自主防災組織の強化、育成、家庭内等の防災対策を推進し、自助、共助の意識を確立する。						
危機管理事業	自助・共助推進のための研修、訓練の実施 「公助」のための計画、体制づくり	継続 県総合防災訓練の実施	継続	継続	10,134	
災害対策本部の運営、防災に関する教育や訓練を行う。その他危機管理事業案に関する対応を行う。						
原子力調査広報事業	原子力関連施設等の視察、熊本県人吉市視察、啓発活動の実施	原子力関連施設等の視察、講演会の開催 啓発活動の実施	継続	継続	4,745	
原子力発電に関する知識の普及、安全確保に関する調査、連絡調整のため、原子力関連施設等の視察や講演会の開催、啓発活動の実施する。						
多目的体育館整備事業	設計施工	設計施工 NearlyZEB認証取得に向けた設計	施工 備品整備 NearlyZEB認証取得に向けた施工・補助申請	供用開始 指定管理料	1,167,649	
施設不足を解消するため、原子力災害時には要配慮者を収容する。平時には多くの市民が利用できる多目的体育館を整備する。						
放射線防護施設整備事業	相良地区放射線防護施設（造成・建築工事・備品） 牧之原消防署放射線防護施設「常用電源接続」	相良地区放射線防護施設Wi-Fi環境整備（電話込）	多目的体育館「エアシェルター」整備	完了	1,400	
受入先などの準備が整い円滑に避難が出来るまでの間、PAZ圏内の要配慮者等の被ばくリスクを下げながら、安全に一時的な屋内退避を行うための放射線防護施設を整備する。						

## 1 方向性

### (1) 消防の広域化に伴うサービスの充実

- ・静岡地域での消防の広域化に伴い、救急業務のサービスの拡充、消防サービスの充実強化、消防投資の効率化などを長期的な視点で進めます。
- ・関連する団体と連携し、住民の安全安心な暮らしを守る消防体制を構築します。

### (2) 消防署の適正配置

- ・地域における消防車両等の到着時間の格差を解消するための検証を行い、消防署の適正配置を検討していきます。

### (3) 消防団員の確保、処遇改善

- ・地域の安全を守る消防団活動を維持するため、地域の協力のもと、団員の確保に努めながら、消防団設備の改修や適正な更新を行うとともに、免許取得の補助制度など処遇改善を図っていきます。

### (4) 消防団の分団、詰所の再編

- ・地域の実情に合わせた消防団組織の効果的、効率的な運営を図るため、自治会と協議のうえ、分団及び詰所等の再編を進めます。
- ・分団の再編とともに、消防団活動を補完する機能別分団の組織化への検討を進めます。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
消防団員数（総数）	472 人	490 人
消防体制の整備に対する市民満足度	54.7%	62.6%

※1 令和4年3月における最新の数値

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
静岡地域消防業務委託事業	静岡市への委託 (人件費、管理運 営経費、経常的 経費、車両更新 経費等) 吉牧起債償還金  消防庁舎修繕工 事	静岡市への委託 (人件費、管理運 営経費、経常的 経費、車両更新 経費等) 吉牧起債償還金	継続	継続	695,252
静岡地域（島田市、牧之原市、吉 田町、川根本町）における消防の 広域化により、消防業務の充実・ 強化や消防投資の効率化を図るた め、静岡市に消防救急業務を委託 する。					
消防団活性化事業	消防団員の育 成・強化、安全 確保	継続	継続	継続	22,512
安全で安心して暮らせるまちづく りを推進するため、地域防災の中 核となる消防団組織の育成・強化 を行う。					
消防施設整備事業 (消防団組織再編)	詰所解体撤去工 事設計業務委託 (2箇所) 勝間田消防館建 設（不動産鑑定 料) 補正対応 詰所解体撤去工 事（2箇所）	勝間田消防館新 築工事設計業務 委託 土地購入 小型動力ポンプ 更新（3台）	新勝間田消防館 新築工事 牧南器具置き場 解体撤去工事設 計業務委託 牧南器具置き場 解体撤去工事 小型動力ポンプ 更新（1台）	旧勝間田消防館 解体撤去工事設 計業務委託 中器具置場解体 撤去工事設計業 務委託 小型動力ポンプ 更新（1台） ポンプ車更新 （1台）	48,416
消防団は、地震津波等の災害時 には、迅速な消火・救助活動が求め られている。安全な消防団活動を 確保するため、津波浸水区域に位 置する分団詰所の統廃合及び詰所 の耐震化を実施する。					

## 1 方向性

### (1) 関係者と連携した犯罪防止

- ・犯罪の防止には、声掛けによるコミュニティ活動など地域環境の整備が重要であることから、市民、地域、事業者及び関係団体が一体となって、青色防犯パトロールの実施や啓発活動を行い、犯罪の起こりにくい地域づくりに取り組みます。

### (2) 特殊詐欺などに対する相談、啓発の実施

- ・悪質商法やオレオレ詐欺などの特殊詐欺を未然に防止するため、警察や関係団体などの協力による啓発活動や市民相談センターによる相談機能の充実を図ります。

### (3) 交通事故防止

- ・交通死亡事故ゼロ、交通事故総量削減のため、各期間の交通安全運動の実施、高齢者や子どもを対象にした交通安全教室などの啓発活動、県や警察と連携したピカッと作戦、早めのライト点灯の実施による夜間の交通事故防止などに取り組みます。
- ・通学路を中心とした歩行者保護のためのハード整備を実施し、歩行者の安全対策に取り組みます。

### (4) 大型イベントへのテロ対策

- ・2019年ラグビーワールドカップ及び2020年東京五輪などの開催におけるテロ行為を未然に防止するため、警察と近隣自治体、民間事業者や地域住民等が緊密に連携し、官民一体のテロ対策を推進します。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
消費生活相談件数に占める被害を未然に防いだ割合	89.7%	90.0%
交通事故発生件数	147件	200件
夜道、盗難などの犯罪防止に対する取組に対する市民満足度	41.0%	54.0%
学校や地域で子どもを守る取組に対する市民満足度	61.6%	66.3%
学校や地域で子どもを守る取組に対する市民満足度	61.6%	62.8%
悩みごと相談など各種相談窓口の充実に対する市民満足度	47.0%	62.2%

※1 令和4年3月における最新の数値

※2 市民相談センターで受け付けた消費生活相談に占める被害を回復した額の割合

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名	年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
	事業内容	R3	R4	R5	
交通安全対策整備事業	カーブミラー、 転落防止柵の設置 区画線の明示等	継続	継続	継続	12,700
市道を通行する車両や児童・生徒の通学時の安全性向上を図るため、転落防止柵の設置や区画線の明示などを実施する。					
防犯まちづくり推進事業	防犯活動の支援、自主防犯活動の促進 防犯灯補助制度の活用(150基)	防犯活動の支援、自主防犯活動の促進 防犯灯補助制度の活用(200基) 犯罪被害者等見舞金等	継続	継続	6,806
市民の安心・安全な暮らしを確保するため、自治会をはじめ、各種団体や学校、警察と連携のもと、防犯活動ボランティア団体への支援や自主防犯活動を促進する。					
交通安全対策推進事業	交通安全啓発活動、指導員の設置(交通安全指導員47人) 新入学児のヘルメット配付(360個)	交通安全啓発活動、指導員の設置(交通安全指導員50人) 新入学児のヘルメット配付(320個)	継続	継続	15,237
交通事故をなくすため、牧之原警察署と連携した交通安全対策を推進する。交通安全啓発に係る広報活動や民間指導員の確保等、交通安全指導員設置に係る支援及び指導体制を強化する。					

## 1 方向性

### (1) 人財の育成

- ・ 牧之原市人財育成基本方針に基づき、自ら伸ばす、職場が伸ばす、人事制度が伸ばす取組を継続し、意識改革や個々の感性を磨く学びの場をつくります。
- ・ 職員自ら市民の立場で問題を発見し、仲間と共にスピーディーに解決する情熱ある職員を育てます。
- ・ 人事評価制度を活用し、職員の資質向上を図ります。

### (2) 定員管理と再任用

- ・ 定員管理計画の見直しを図り、組織に必要な職員の適正配置を進めます。
- ・ 平成 32 年度（2020 年度）から導入される会計年度任用職員制度に基づき、非正規職員の適正な任用を図ります。
- ・ 再任用制度に基づき、経験豊富な定年退職者を再任用することで、役所機能の維持と若手職員の育成を図ります。

### (3) 働き方改革

- ・ 健康で働きやすい職場環境を整備します。
- ・ 生活と仕事の調和による相乗効果を目指すワークライフバランスを推進します。

## 2 数値目標（令和 4 年度）

指 標	基準値※1	目標値
職務の改善、改革や創造を行い課題に挑戦する職員の割合	63.8%	90.0%
各部が掲げた目標の達成度	64.2%	70.0%

※1 令和 4 年 3 月における最新の数値

## 3 数値目標を達成するための実施計画

事業名	年度別の事業内容				R 4 年度 当初予算額
	R 3	R 4	R 5	R 6	
職員育成・研修事業*	階層別研修 テーマ別研修 専門研修	継続	継続	継続	3,821
地域にとって必要とされ、様々な課題に積極的に挑戦し、スピード感を持って解決できる情熱を持った職員を育成するため、戦略的かつ効果的な人財育成を実施する。	※管理的事業へ移行				

\*P3「令和 4 年度 実施計画の事業費及び事業数」には含まれない。

## 1 方向性

### (1) 地区主体の地域活動の推進

- ・各地区の地区自治推進協議会が主体的に行う取組を支援し、住民主体の地域づくりを進めます。
- ・各地区の代表者で組織する地区長会が全市的な課題に対応できるよう地区間の連携や活動しやすい環境づくりを進めます。

### (2) まちづくりセンターの設置

- ・各地区に地域活動の拠点となる（仮称）まちづくりセンターを設け、行政の各施策との連携を強化するとともに、地区主体の地域づくりの基盤を強化します。

### (3) まちづくりを支える人財育成

- ・地域の住民自らが地域の課題を解決する能力を高めるため、まちづくり協働ファシリテーターの育成、高校生を対象とした地域リーダーの育成などに取り組みます。

### (4) NPOやボランティア活動

- ・NPOやボランティア団体などの市民活動団体が、運営ノウハウを生かし、自治組織と連携・協働して活動や地域づくりを進める体制を強化します。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
自治会の住民自治活動への支援に対する市民満足度	40.1%	54.0%
地区公民館などの活動拠点の施設整備に対する市民満足度	45.8%	57.5%
NPOの育成・支援など、誰もが安心してボランティア活動に参加できる仕組整備に対する市民満足度	43.7%	54.6%

※1 令和4年3月における最新の数値



### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名		年度別の事業内容				R 4年度 当初予算額
事業内容	R 3	R 4	R 5	R 6		
コミュニティ施設整備事業	自治会集会施設の整備、修繕 (修繕11か所)	自治会集会施設の修繕(7か所) 追廻町内会公民館建設(新設)	継続	継続	8,512	
コミュニティ活動の活性化を図るため、自治会の活動拠点となる集会施設の整備や修繕などを支援する。						
コミュニティ活動支援事業	コミュニティ活動への支援	継続	継続	継続	43,029	
コミュニティ活動の活性化を図るとともに、地区及び市民と行政の密な連携のもと、自治会活動がさらに推進されるよう、自治会活動を支援する。						
地区支援拠点推進事業 【新規】	モデル地区での試行及び検証 地頭方地区 「ジーボ」に地区支援職員の配置	地頭方地区継続 他地区の支援方法検討	地区に職員を配置 (数地区)	地区に職員を配置 (概ねの配置完了)	2,489	
自治基本条例推進会議から提出された「地区支援拠点のあり方に関する提言書」を踏まえ、地区支援拠点の機能やあり方を地区長会と協議し、小学校区単位の10地区に機能を整備する。						
自治基本条例推進事業	自治基本条例推進会議の開催 (3回)	自治基本条例推進会議の開催 (3回)	継続	継続	460	
自治基本条例に基づき、市民との協働のまちづくりを進めるため、自治基本条例推進会議で市民参加手続き等が適当であるかを確認するとともに、重点施策について意見を聞く。	メインテーマ ・行財政改革 ・市民参加 ・施行10周年記念シンポジウム	メインテーマ ・市民参加 ・市民投票制度 条例にに基づく職員人材育成				
地域づくり推進事業 (地域リーダー育成プロジェクト)	地域リーダー育成プロジェクト Musubi : 1コース CLIP : 2コース	地域リーダー育成プロジェクト	継続	継続	700	
市民との協働・連携しながら、将来のまちづくりを担う人材育成を進めるため、地域リーダー育成プロジェクトを実施する。						
地域の絆づくり事業	地区まちづくり計画に基づく取組の推進	継続	継続	継続	3,000	
地域の課題解決と魅力創造のため、主体的に地域づくりを考え、実行する組織を立ち上げるとともに、その取組を通じて、地域の人材を育成する。	助成制度の検討					

## 1 方向性

### (1) 行政運営の効率化と健全化

- ・アウトソーシングの導入や公的資産の有効活用、事務事業の実施方法や施設の運営方法の改善、経営資源の選択と集中などを進め、市民サービスの充実と財政の健全化に努めます。
- ・財源確保や財政負担の軽減に繋がる取組などを進め、持続可能なまちづくりに向けた、経営の視点で行財政運営に努めます。

### (2) 公共施設マネジメントの推進

- ・公共施設マネジメント基本計画を見直すとともに、各施設分類における個別計画を策定し、分類別施設の量と質を見直します。

### (3) 広域行政の推進

- ・ごみ処理、消防、医療などの単独での施設保有が困難な分野においては、関係市町と連携して施設を運営します。
- ・行政課題の効果的な解決のため、中部地域、遠州地域、大井川流域など各種広域の枠組みの中で、関係市町との連携を強化し、対応方法を検討していきます。

### (4) 施策の計画的な推進

- ・施策の推進と進捗管理のため、市民意識調査の実施や実施計画の策定を通じて毎年の実施状況を評価し、取組を随時改善していきます。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
市債残高	214 億円	200 億円
市税収入率（現年分）	99.0%	99.2%
公共施設マネジメントへの市民容認度	88.4%	88.0%
公共施設マネジメントに係る分類別個別計画の策定率	100%	100%
情報通信技術（ICT）の環境整備の取組に対する市民満足度	42.4%	62.0%
行政改革の取組に対する市民満足度	35.6%	50.1%

※1 令和4年3月における最新の数値

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名		年度別の事業内容				R 4年度 当初予算額
事業内容	R 3	R 4	R 5	R 6		
行政サービスICT化推進事業	進捗状況、国や県の動向を踏まえた、計画及び個別アクションプラン検証、見直し	RPA、AI-OCR、AI議事録システム電子申請システム、ビジネスチャット スマホ教室  【単年度】 ネットワーク改修、スマホ購入補助	継続	継続  システム標準化に係る改修	17,136	
人口減少や高齢者人口がピークを迎える2040年を見据え、AIやロボティクス等を使いこなすスマート自治体への転換が必要とされている。 本市においても進行する人口減少、少子高齢化への対策を検討する中で、持続性の維持、魅力の発信の強化を図ることを目的として、デジタル化の推進を図る。						
マイナンバー制度推進事業		マイナンバー取得、マイナンバーカード紐づけ、マイナンバーカード申請、コロナワクチンパスポート等をサポートするための支援窓口を両庁舎に開設	完了		1,018	
マイナンバーカードの取得を促進するため、マイナンバーカード発行手続き等を支援する窓口を設置する。						
総合計画推進事業	市民意識調査総合計画審議会の開催(4回)実施計画見直し	市民意識調査総合計画審議会の開催(3回)実施計画見直し	市民意識調査総合計画審議会の開催(3回)実施計画見直し	継続	2,336	
第2次総合計画の推進及び進捗管理のため市民意識調査の実施、総合計画審議会の開催、実施計画の見直しなどを行う。 計画期間に合わせて、まち・ひと・しごと創生総合戦略、第3次総合計画の策定を進める。	第2次総合計画検証・第3次総合計画策定着手	第3次総合計画策定、冊子作成				
庁舎施設管理事業 【一部新規】		新規 榛原庁舎北側倉庫改修工事(屋根、外壁、階段、扉の改修)を行う。	新規 榛原庁舎エレベータ改修工事	新規 相良庁舎エレベータ改修工事 相良庁舎・相良保健センター大規模リフォーム改修実施設計	86,551	
庁舎施設の老朽化に伴い、各種設備機器の更新改修を行う。						
若者に魅力あるサービス等 創出事業	先進事例の調査研究、公民連携の啓発講座の開催	先進事例の調査研究、公民連携の啓発講座の開催	※次期総合計画の位置づけに合わせて政策分野を検討	※次期総合計画の位置づけに合わせて政策分野を検討	6,500	
民間との効果的な連携を図るため、地域課題の解決に資する民間事業を支援し、自立性、継続性のある事業としてのスタートアップを促進する。	大沢公園等エリア内の他施設の活用等の推進  他のエリアの構想策定と推進	日本一女性に優しいまちの実現に向け、女性の起業、活躍に重点的に着手				

事業名		年度別の事業内容				R4年度 当初予算額
事業内容	R3	R4	R5	R6		
地頭方公民館解体事業 【新規】		解体工事 実施計画	解体工事 (単年度) 1984年度建築 鉄骨平屋造  A=552m <sup>2</sup>	完了 土地の返還	1,771	
令和3年度をもって使用停止と なったトーク地頭方の除却を行 う。						
公共施設等総合管理計画 策定・推進事業	改定した公共施 設総合管理計画 に、インフラ等 国が求めている 内容を反映	公共施設総合管 理計画の進捗管 理を図る。	継続	継続	0	
公共施設総合管理計画及び個別施 設計画を適時に策定・改定し、適 切に公共施設マネジメントを行 う。						

## 1 方向性

### (1) シティプロモーションの推進

- ・市の持つ魅力や強みを整理したうえで、都市ブランドとしての統一したイメージを形成し、市内外に向けて効果的に発信します。
- ・国内外の姉妹都市、友好都市及び友好交流に関する覚書を締結した都市との交流を深めるとともに、交流地域及び交流分野の拡大を図ります。

### (2) 広報紙、SNSでの情報の発信

- ・ターゲットや目的に適した媒体や手段により、市政に関する情報を公開、発信するなど、戦略的な広報を展開します。
- ・SNSを活用した地域情報の交流を推進し、暮らしの利便性の向上や地域コミュニティの強化を図ります。

### (3) 移住定住の促進

- ・豊かな自然環境、温暖な気候、多様な特産品や地域資源を活かしたライフスタイル、産業、文化の創出を通じて、市内への移住定住を促進します。
- ・移住定住に伴う住宅の新築、購入、賃貸、改装に対する支援を行います。

### (4) 東京五輪サーフィン競技のホストタウン事業の推進

- ・2020年東京五輪の開催を契機として、国内外との文化、観光、経済面などでの交流を深めるとともに、開催に合わせて整備した競技環境の有効活用、関係者による気運の盛り上がりなどを通じて、大会後も継続したインバウンドを確保します。
- ・マリンスポーツやマリンレジャーを楽しめるライフスタイルや産業を創出し、移住定住を促進します。

### (5) 多文化共生の推進

- ・外国籍住民との総合理解を深め、共に地域の一員として暮らしていく社会をつくります。

## 2 数値目標（令和4年度）

指 標	基準値※1	目標値
広報紙などによる十分な情報発信に対する市民満足度	56.3%	63.8%
海外からの交流受入人数	0人	500人
姉妹都市、友好都市との交流推進の取組に対する市民満足度	47.5%	62.8%

※1 令和4年3月における最新の数値

### 3 数値目標を達成するための実施計画

(単位:千円)

事業名		年度別の事業内容				R 4年度 当初予算額
事業内容	R 3	R 4	R 5	R 6		
情報発信事業	広報紙による情報発信(12回)	継続	継続	継続	13,433	
行政情報の共有化を図るため、広報紙、ホームページ、フェイスブック、携帯メール、LINE等、多様な媒体や手段により、行政情報を積極的に発信する。	HP、FB、LINE等による情報発信 定例記者懇談会の開催(12回) ホームページ ニュースアル (R1のみ)					
多文化共生推進事業	各種交流事業への助成 日本語教室の開催	継続	継続	継続	1,519	
外国人と日本人が共存し、ともに理解し合い、生活できるまちづくりを進める。						
移住・定住促進事業 (定住促進奨励事業)	新婚世帯への住宅費助成 子育て定住奨励金	継続	継続	継続	62,081	
市への移住定住を促進するとともに、結婚を支援し妊娠・出産、子育て支援等に繋げていくため、新婚世帯に対する住居費の助成や子育て家族の住宅取得について奨励金等を交付する。	東京圏からの移住者に対する補助金					
シティプロモーション推進事業	交流事業の展開 魅力、資源の情報発信	継続 (追加)	継続	継続	1,322	
交流人口の増大を図り、地域の活性化に資するため、各種交流事業を展開するとともに、市の魅力や資源を国内外へ発信する。	シティプロモーションの推進	沿岸部等の魅力発信に繋がるホストタウンレガシーを活用したインバウンド事業				
ホストタウン推進事業	スポーツ・文化交流等の実施 強化合宿の受入	五輪(ホストタウン事業)のレガシーとして、選手育成等に繋げる米国サーフィン選手等との事後交流の実施	継続	継続	3,937	
中華人民共和国並びにアメリカ合衆国を対象国としたホストタウン登録を契機に、両国と人的、経済的、文化的な相互交流を推進する。						

牧之原市企画政策部秘書政策課

〒421-0495 静岡県牧之原市静波 447 番地 1

TEL : 0548-23-0052

FAX : 0548-23-0059

E-Mail : [seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp](mailto:seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp)

